

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立清流館高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	28
学校施設の概要	29
在籍生徒調	31
入学志願者及び入学者数調	32
卒業生の動向調	33
生徒の状況	34
授業料収納状況調	36
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	40
預金調	41
郵券等受払調	42
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	43
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	44
委託料に関する調	45
負担金支出調	49
建築工事調	52
公有財産調	54
借地借家等調	55
行政財産貸付・使用許可調	56
主要備品調	58
職員調	59
職員の年齢調	62
健康管理	63

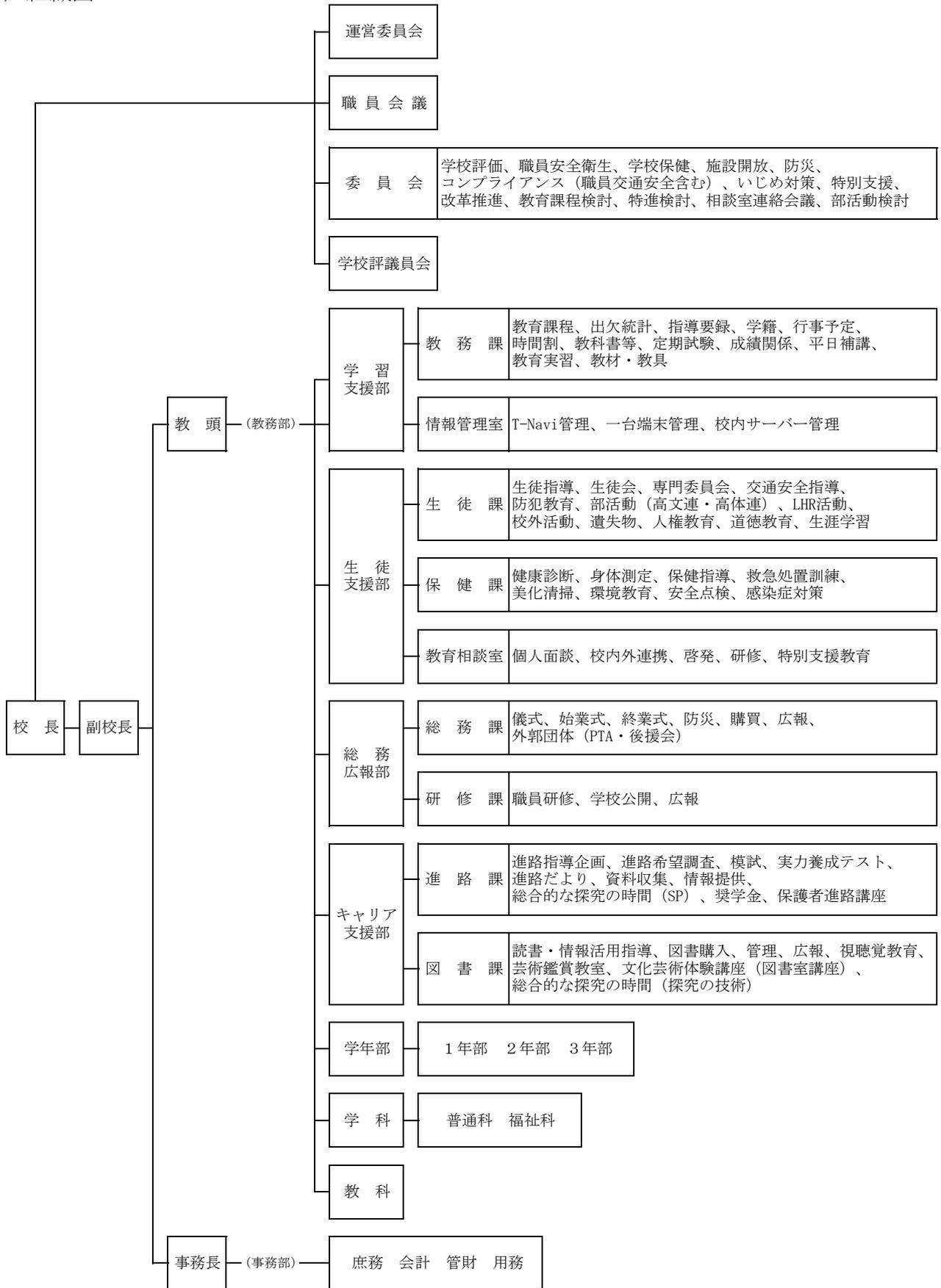
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

平成17年3月29日	静岡県立高等学校第二次長期計画の策定（教育委員会定例会） 大井川高等学校と吉田高等学校を再編整備し、普通科と福祉科を有する志榛地区新構想高等学校（仮称）の設置を公表
平成22年3月20日	新構想高等学校設置場所が大井川高等学校の校地に決定（教育委員会臨時会）
平成22年5月24日	新構想高等学校設置準備委員会の設置新構想高等学校の基本計画（教育目標）策定に向けた検討組織が始動
平成22年9月8日	新構想高等学校の開校が平成26年度に決定
平成24年3月30日	新構想高等学校基本計画（最終報告）の策定
平成25年3月19日	県議会において校名が「静岡県立清流館高等学校」に決定
平成25年9月13日	清流館高等学校の校章が決定
平成25年11月11日	普通科240人 福祉科40人の募集を発表
平成26年3月26日	福祉科入浴実習棟完成
平成26年4月1日	静岡県立清流館高等学校開校
平成26年4月8日	第1回入学式を挙げる
平成26年4月10日	焼津市大井川文化会館ミュージコにおいて、開校記念式典を挙げる
平成27年3月2日	第1回卒業式を挙げる
平成29年4月1日	「ネオアドバンススクール」指定校に指定される
平成31年4月1日	普通科定員200人
令和4年4月1日	普通科定員160人

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) 教育目標

《成長する人》 - 広い視野のもと、主体的に学び、意欲的に努力する生徒を育む

《共生する人》 - 自他を敬い、多様な生き方を認める生徒を育む

《有為の人》 - 高い規範意識を持ち、地域社会に貢献する生徒を育む

(2) スクール・ポリシー現化の柱

ア 思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的・対話的な学びを深めるとともに、課題解決に向けて探究的に取り組む態度を育む。

イ 自立的な生活習慣を確立し、互いを認め合い尊重する豊かな心を育む。

ウ 社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。

エ 教育諸活動に係る生徒への支援体制の充実を図り、「信頼される学校」づくりに努める。

オ 「総合的な探究の時間」を柱として、外部との連携による学習機会の充実を図り、地域社会のリーダーとして活躍する人材を育む。

カ 周囲との協調性を重視し、他者の人格や人権を尊重する豊かな人間性を備え、多様な他者と協働して活躍する人材を育む。

キ 福祉・介護に関する知識及び技能を高め、持続可能な共生社会の担い手としての人材を育む。

ク 教職員が信頼し合い、長所を認めて学び合い、互いに職業人としての技量を一層高める。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題（重点目標はゴシック体）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的・対話的な学びを深めるとともに、課題解決に向けて探究的に取り組む態度を育む。	【教員の授業研修】 ・校外研修やオンラインセミナーに参加する教員80%以上、教員自身が学び続ける姿勢を持つことを自覚する(研修課)	・校外研修、オンラインセミナーへの参加者(教員)80.6%	B	・本年度から職員研修申込みに新たなオンラインシステムが導入されたため、システムへの不慣れも考えられる。マニュアル配布など、丁寧な説明を行っていく。 ・5回以上参加した教員が、昨年度の6.1%から13.9%に増加した。引き続き教員の意欲の後押しをしていきたい。
		【知識の定着】 ・「授業の内容がわかる」と答える生徒80%以上 ・「学ぶ面白さを感じた」と答える生徒80%以上 ・学びの基礎診断や模試の結果が学年、進路課で活用され、生徒が自己調整力を高める (教務課・進路課・学年部・教科)	・授業の内容がわかり、面白いと感じている(保護者)71.5% ・「学ぶ面白さを感じた」(生徒)80.1% ・教科の授業やSPで自分の考えを表現している(生徒)74.2% ・学びの基礎診断の結果を活用・改善に	B	・学ぶ面白さを感じる生徒の割合の目標は達成できた。一方で自分の考えを表現したと答えた生徒は74.2にとどまったので、自分の考えを表現する機会を増やし、生徒の自信を高めていきたい。 ・探究活動は相手を受容する機会や、自身の考えを伝える機会が多いが、各教科の授業においても

	つなげている。(教員) 52.8%		そのような場面設定ができればよいと考える。
【授業改善】 ・「何ができるようになるか」を意識した授業改善を行い、教員が生徒の興味・関心を高める授業を実践する。 ・授業等で ICT 機器を効果的に活用する教員の割合 85%以上、 (教務課・情報管理室・研修課・教科)	・意識して授業改善を行っている(教員) 94.5% ・授業等で ICT 機器を効果的に活用する(教員) 83.3% ・(株)リクルートから講師を招き、ICT を活用した授業改善の職員研修を実施した。	A	・生徒につけたい資質・能力を意識して授業改善を行うことができた。 ・ICT 機器活用の場面が増えている。校内インフラをさらに整え、より一層効果的に使用していきたい。 ・学習支援ソフトを活用した課題配信を行い、生徒の学力向上につなげることができた。
【観点別学習評価】 教科内で共通理解のもと、観点別評価の実践と改善が行われている (教務課・教科)	教科内で共通理解のもと、観点別評価の実践と改善が行われている(教員)97.2%	A	新課程完成年度で教員が観点別評価に慣れ、共通理解が深まっている。
【家庭学習の習慣化】 ・授業以外の学習を週5日以上行くと答える生徒の割合 60%以上、生徒が進路実現や自己目標達成に向けて努力している ・「自分なりの学習方法を身に付けている」と答える生徒 75%以上 ・「家庭学習等に ICT 機器を活用していると答える生徒」75%以上 (教務課・進路課・学年部・教科)	・お子様は家庭での学習が定着している。(保護者)53.9% ・授業以外の学習を週5日以上している。(生徒)31.4% ・自分なりの学習方法を身に付けている。(生徒)68.3% ・家庭学習などに ICT 機器を活用している。(生徒)55.5%	B	・家庭学習の習慣づけに大きな課題が残った。必要に応じ適切な質量の課題を出すとともに、家庭学習の重要性とやり方を丁寧にガイダンスしていくことが必要である。 ・進路実現に必要な基礎学力の定着や、総合型、学校推薦型選抜の受験内容(プレゼン、小論文)を踏まえ、低学年から家庭学習を定着させることが大切である。 ・ICT 機器の活用については、生徒に広く浸透している。さらなる学習の成果や効率について検証する必要がある。
【読書による学びの深化、心の成長】 ・1 か月間の無読者 30%以下、年間を通して読書時間を伸ばすことができる。	・1 か月に1冊以上、本を読んでいる(生徒) 72.5% ・読書が人の気持ちを考える、社会のことを知る、知識を得	A	・多くの生徒が1か月に1冊程度の本を読んでいるが、親しみやすく、わかりやすい小説を読んでいる生徒がほとんどであるので、選書の幅を広げ、深く

		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒「読書ノート」記入数 年5冊以上 ・読書が人の気持ちを考える、社会のことを知る、知識を得るなどに有用であると答える生徒 75%以上 ・新書をはじめ、自ら興味・関心のある分野の本を読んだ生徒 75%以上 ・図書室講座の開催（年6回） （図書課・学年部・教科） 	<ul style="list-style-type: none"> るなどに有用（生徒）78.5% ・興味・関心のある分野の本を読んだ（生徒）64.7% 	<ul style="list-style-type: none"> 考える機会となるようガイダンス（2回）と「読書レポート」作成を実施した。 ・「読書レポート」は2年生対象に実施したが、「総合的な探究の時間」と連携して行い、社会探究の充実に役立てた。 ・図書室講座（自己PR・小論文）は、夏季休業中に集中して実施し盛況であった。図書室は異学年が集えるという利点が大きいため、次年度はグループ討論などの協働的な活動を主体とした講座の充実に図りたい。
イ	自立的な生活習慣を確立し、互いを認め合い尊重する豊かな心を育む。	【基本的な生活習慣の徹底】 <ul style="list-style-type: none"> ・教員が率先して挨拶することで「進んで挨拶ができる」生徒と教員の回答ギャップを10%以内にする ・「正しい身だしなみ」生徒と教員の回答ギャップ10%以内 ・SNSの適切な使用方法が身についている生徒100%（生徒課・学年部） 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶できている（生徒）83.3、（教員）58.3% →差25% ・正しい身だしなみ（生徒）93.5%（教員）47.2% →差46.3% ・適切なSNS使用（生徒）96.8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶と身だしなみに関しては、生徒と教員の間には認識のずれが大きく、改善が必要である。 ・SNSの使用に関しては、生徒アンケートにおいてはほぼ目標を達成したが、トラブルは継続的に発生しているため、引き続き注意が必要である。
		【特別活動の活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による企画・運営が進んでいる。 ・委員会・係活動が充実している生徒80%以上（生徒課・学年部） 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会やクラスの係活動がしっかりできた（生徒）95.4%。 ・清流祭（文化祭・体育祭）が楽しかった（生徒）95.7% 	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動は生徒の主体的な参加と高い満足度を得ており、非常に良好な結果と言える。
		【交通安全教育・指導】 <ul style="list-style-type: none"> 交通安全事件数年10件以下（生徒課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間交通事故数9件。 ・交通安全の取組が、生徒の安全意識の高揚に繋がっている（教員）72.2%。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の重大な事故発生により、警察交通課との連携や自転車交通違反カードへの指導等を見直した結果、目標の交通事故件数を下回る結果となった。こうした取り組みが生徒の

			安全意識向上に貢献している。	
	<p>【健康の保持及び増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活リズムや食事など健康を維持することを意識している生徒 80%以上 治療勧告に対する受診率 75%以上 (保健課・学年部) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を食べている (生徒) 91.4% 受診率 (R5) 33% → (R6) % 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> R5 の 93.0% に対して若干低下しているが、今後も呼びかけを続けていく予定である。 R4 の 29.1% から比べると R5 で受診率は上昇しているが、今年度は再び低下している。長期的に見れば少しずつ受診率は上昇しているため、今後も呼びかけを続けていく。 	
	<p>【環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室等が公共の場として、安全で清潔な環境を整えることができる ごみの総量減少。分別されたごみ出しができています (保健課・学年部) 	<p>教室が公共の場として整っている (生徒) 91.9%</p>	<p>A</p> <p>ごみの総量は減少しており分別についても事業系のごみの出し方の説明が守られている。</p>	
	<p>【豊かな感性の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術鑑賞教室の生徒満足度 80%以上 事後アンケートにより効果と課題が共有されている (図書課) 	<p>内容について「とても良い」「良い」と回答 (生徒) 88.5%</p>	<p>A</p> <p>演出、演者についてよく観察し演劇の醍醐味を味わった。本校を会場に実施したため、設営・撤収の補助の一部を生徒が担い、達成感や学校行事への貢献を実感できた。</p>	
ウ	<p>社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。</p>	<p>選管による出前授業や模擬投票等の実施を通して、生徒が具体的に国や地域の課題解決への関わる気持ちを高めることができる (地歴・公民科)</p>	<p>焼津市選挙管理委員会の出前授業で模擬投票を実施した。 (高1)</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の投票資材を使用したり、模擬政党の政策を比較したりすることで、実際の投票への意識を高めた。 選挙権のある3年生に総選挙前に投票を呼びかけるアナウンスを行った。
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒向け進路ガイダンス 3回以上実施 生徒・保護者向け進路講座年3回以上実施 (進路課・学年部) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒向けガイダンス 1年(12/4 実施) 2年(3/12 予定) 3年(5/16, 8/23 実施) 進路講座 (12/14, 2/22 実施) 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の多様な進路に応えることや、学部学科等の学問に関心を持たせるようなガイダンスの形態を目指したい。 保護者向け進路講座も好評のため、継続していきたい。
		<p>修学旅行を通して「平和について意識が高まった」「各地域の自然や生活文化の違いへの理解が深</p>	<p>平和について意識が高まった (生徒) 98.4% 各地域の自然や生活文化の違いの</p>	<p>A</p> <p>本校初の学年単位での沖縄修学旅行は、平和学習と体験学習に内容を絞ったことで充実感・満足感の高いものとなった。特</p>

		まった」「他者を思いやる言動ができた」と回答する生徒 90%以上（2年部）	理解が深まった（生徒）100%他者を思いやる言動ができた（生徒）99.4%		に平和学習では真剣な態度で臨み、深い学びができた。事前・事後学習の充実と現地での時間配分が今後の課題である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・3年生進路目標の実現の満足度90%以上 ・必要な進路情報が入手できていると答える生徒80%以上（進路課・学年部） 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な進路情報を手にすることができている(生徒)73.3% ・学校から進路選択や文理選択等に参考となる情報が入手できている(保護者)70.9% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、オープンキャンパス情報は、クラスルームにアップし、生徒が常に閲覧できるようにした。 ・需要の多い県内上級学校については来年度も生徒昇降口に掲示する予定である。
エ	教育諸活動に係る生徒への支援体制の充実を図り、「信頼される学校」づくりに努める。	スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づく、教育活動の円滑な運用を行う(副校長)	スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づいて、各課室科が重点目標を作成し、教育活動を行った。	B	本校の教育活動の拠りどころとして、引き続き教職員への理解を促していく。
		多様な教員の経験値を生かす職員研修の実施とチームプロジェクトを充実し、生徒や保護者の困り感等の緩和や若手教員のスキルアップに繋げる(研修課)	<ul style="list-style-type: none"> ・喫緊の教育課題に対応した職員研修が実施されている(教員)58.4% ・特別支援教育に係る全体研修を実施した。 ・チームプロジェクトを立ち上げ、学校広報動画や学校公開用ポスターの作成を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も本校の教職員にとって有用となる研修を企画していく。 ・学校公開時のアンケートで、66.2%がホームページ、掲示物(ポスター)で開催を知ったと回答しており、チームプロジェクトに一定の成果があった。引き続き同様の広報活動を行っていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・定例の会議に加え、必要に応じて随時ケース会議を行い迅速な対応態勢が整えられる。 ・SCや外部専門機関とのスムーズな接続がとられている(相談室・学年部) 	相談室情報連絡会議を年7回、特別支援教育委員会を年5回、さらに、個別ケース会議を開き、SC、SSWの助言をもとに迅速な生徒・保護者対応をすることができた。	A	会議には必要に応じてスクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)も参加し、生徒・保護者面談にも同席していただき的確な助言をいただき効果的な支援をすることができた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・会計研修実施年1回以上 ・適正かつ効果的な予算配分及び計画的な予算執 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の職員会議にて実施した。 ・各分掌からの要望に対し、可能な限り 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して、全職員の共通理解を図る機会とすることができた。 ・学校経営予算が縮小さ

<p>行が行われている(事務室)</p>	<p>対応した。</p>		<p>れ、施設設備の不良に見舞われる中、適正に予算執行にあたることができた。</p>
<p>・危機管理マニュアルの活用促進 ・校内防災訓練で防災意識が高まった生徒 80%以上 ・総合防災訓練又は地域防災訓練の参加生徒延べ 300人以上(総務課)</p>	<p>・職員会議で危機管理マニュアルの読み合わせを実施した。 ・校内防災訓練を 6/5(水)と 11/6(水)に実施した。 6月の訓練では避難前に南海トラフ地震の被害予測や臨時情報についての動画視聴で意識を高めた。 6/6(木)に「防災訓練で防災に対する意識を高めることができましたか」というアンケートを実施した。「できた」56.3%、「まあできた」40.6%。 ・地域防災訓練の参加者は165人、不参加者は410人であった。不参加理由は未実施42人、参加対象外36人、学校教育活動との重なり74人、個別の事情58人、参加する意思がなかった200人であった。</p>	<p>B</p> <p>・12月に実施された学校生活アンケートの「防災意識が高まった。」という質問に対して、防災訓練直後のアンケートに比べ、生徒の防災意識の低下がみられた。日々の啓発が必要である。 ・地域防災訓練の参加を校内でさらに呼びかけるとともに、地域との防災連絡会議において高校生の参加率を向上させるための対応策を協議した。</p>	
<p>・PTA 広報紙「清流館だより(5月)」を発行し、魅力を周知している ・学校広報の充実 ・学校公開(年2回)参加者の満足度 90%以上 ・新ホームページ移行への対応(総務課、研修課、教頭、副校長)</p>	<p>・「清流館だより」と学校案内パンフレットを発行し、PTA インスタグラムでは定期的に PTA 活動と学校の様子を発信している。 ・学校公開(8/2(金)、11/9(土))参加者数</p>	<p>A</p> <p>・学校公開参加者の増加を目標とせず、高い満足度を継続していくことを目標としたい。そのため、参加者アンケートに寄せられた要望に応え、改善を図っていく。 ・保護者の 81.4%が「ホームページ、Instagram で学校の様子を知る」と回答し</p>	

			R 5夏 1018人 R 6夏 1028人 R 5秋 522人 R 6秋 521人 参加者の満足度 R 6夏 96.1% R 6秋 100% ・Instagram フォロワー数 R 5 約2800人 R 6 約3800人		ており、大切な広報のツールになっている。
オ	「総合的な探究の時間」を柱として、外部との連携による学習機会の充実を図り、地域社会のリーダーとして活躍する人材を育む。	・上級学年では実践や提案に繋がる探究を行う。 また、探究を通して志望理由書等の進路資料作成スキルを向上させている ・年1回以上、探究活動発表会を実施し、年1回以上、校外での発表会に参加する (進路課、教務課)	・各学年、計画通り実施した。夏期にオンラインで上級生から探究の趣旨や分析方法について説明してもらった。教員の指導もあり、探究発表が下級生の模範となり、活発な活動に繋がった。 探究活動を通して外部と繋がることで社会貢献の姿勢がうまれた。 ・総合的な探究の時間に積極的に取り組んでいる(教員) 75%	A	・各学年、探究活動をとおして、情報発信力や協働する力、プレゼン資料の作成能力等を向上させることができた。 ・学年部と連携して、しずおか高校生探究フェスタへ参加(校外の発表会)した。
		企業講話とキャリアデザイン講演会の実施(進路課)	1年生で実施した。生徒が地域社会との関わりを持つことができた。多くの生徒が企業と協働について関心を示し、企業の地域に対する課題を自身の課題として捉え、積極的に関わろうとする姿勢が見られた。	A	昨年度と業種を変え、1つの行政機関、4つの企業から講師を招聘し、講演を実施した。来年度も継続して実施したい。
カ	周囲との協調性を重視し、他者の人格や人権を尊重する	・悩み事を相談する人が一人でもいると回答する生徒80%以上 ・相談室と連携して校内	学校には困ったことや悩み事を相談できる人が一人でもいる(生徒)88%	A	・悩み相談の体制について、目標をほぼ達成しており、良好な結果である。 ・いじめについて、いっど

豊かな人間性を備え、多様な他者と協働して活躍する人材を育む。	でのいじめを撲滅する (生徒課・相談室)			こでも起こりえることを前提に、いじめ対策委員会を中心に、相談室等と連携した取組を継続していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間、生徒・教職員間で場に応じた適切な言動と距離感の保持ができていますと回答する生徒・教職員 100% ・学校生活が充実していると回答する生徒 80%以上 (生徒課・学年部) 	生徒同士、生徒・教職員間でその場にふさわしい会話や行動ができる (生徒) 95% 学校生活が充実している生徒 (92.5%)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な人間関係の構築については、目標にはわずかに届かなかったが、生徒間、生徒・教職員間の関係性は良好である。 ・学校生活の充実度は、9割以上の生徒が肯定的な回答をしており、生徒にとって居心地の良い学校環境が実現できている。
福祉・介護に関する知識及び技能を高め、持続可能な共生社会の担い手としての人材を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験の組織的指導体制づくりが進む ・施設実習及び介護技術コンテスト等を通して、技量や意識を高めている (福祉科) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間で専門分野を担当し、国家試験対策に当たった。 ・各専門分野を担当しながら組織的体制の下、指導することができた。 ・模擬試験の結果等から危機感をもった生徒たち自ら主体的に協力し合って学習に取り組む様子が見られた。 ・各学年とも施設実習を実施した。 ・普段の授業における基本的技術の習得が活かされ県大会で優秀賞となり、東海大会出場を果たすことができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験に向け、学習意欲が上がらない生徒に対する指導方法を引き続き模索する必要がある。 ・介護技術コンテストへの参加を通して、福祉科の生徒としての意識向上に繋げていきたい。
	ボランティア、社会貢献活動に参加する生徒60%以上 (福祉課・生徒課)	今年度、校外へのボランティア活動に参加した (生徒) 76.8% 福祉科や部活単位に留まらず、個人でもボランティアを行う生徒が見られた。	A	生徒のボランティア・社会貢献活動への参加意欲は高く、積極的に活動に取り組んでいる。 地域の福祉施設やイベントのボランティア情報を適切に生徒に情報提供し、参加を促していきたい。

ク	<p>教職員の多忙化への対応を進め、業務分担のバランスをとり、業務引継ぎが円滑に行われる体制づくりを進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌における業務の見直し及びスリム化への取組 100% ・業務引き継ぎ資料が整備され、業務継承に活用されている ・教員一人あたりの時間外労働時間を昨年度より削減する ・定時退庁日に帰宅しやすい環境となっている ・夏季休暇取得率 100% (副校長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しやスリム化の実践 (教員) 72.2% ・勤務時間を意識した働き方を心掛けている (教員) 69.4% ・お互いに声を掛け合い協力して業務にあたっている (教員) 94.4% ・相談できる同僚が一人以上いる (教員) 91.7% ・夏季休暇取得率 100% 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を経て、業務の見直しや削減が進んでいるので、引き続き学校全体で業務改善に取り組んでいきたい。管理職は、教員が本来担うべき業務に集中できる環境を引き続き整えていきたい。 ・法定労働時間をどのようにマネジメントするか、教職員が自ら考えるように管理職が指導していきたい。
---	--	--	---	---

(2) 令和7年度を取組目標・達成方法・成果目標 (重点目標はゴシック体)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標
ア	<p>思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的・対話的な学びを深めるとともに、課題解決に向けて探究的に取り組む態度を育む。</p>	<p>(1) 【授業改善、知識の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外研修やオンラインセミナー等への参加 ・「何ができるようになるか」を意識した授業改善 ・成績処理システムの適切な運用 ・アクティブ・ラーニングの実践 ・ICT機器の効果的活用 ・学びの基礎診断や模試の結果の活用 (適切な教育目標の設定、既習事項の確認等) ・教員相互の授業見学を実施する <p>(2) 【観点別学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価の実践と改善 <p>(3) 【家庭学習の習慣化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの基礎診断」の結果を踏まえた適切な学習課題の提供 ・学習方法の丁寧なガイド 	<p>【教員の授業研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外研修やオンラインセミナーに参加する教員 80%以上 ・教員自身が学び続ける姿勢を持つことを自覚する ・年2回の授業見学の実施 <p>【知識の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業の内容がわかる」と答える生徒 80%以上 ・「学ぶ面白さを感じた」と答える生徒 80%以上 ・学びの基礎診断や模試の結果が学年、進路課で活用され、生徒が自己調整力を高める <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業を通して物事を考える方法や材料を身につけることができた」と答える生徒 80%以上 ・授業等で ICT 機器を効果的に活用する教員 85%以上 ・教員が生徒の興味・関心を高める授業を行う <ul style="list-style-type: none"> ・教科内で共通理解のもと、観点別評価の実践と改善が行われている ・「授業以外の学習を週5日以上行う」と答える生徒 60%以上 ・生徒が進路実現や自己目標達成に向けて努力している

		<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器の活用による自主学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習方法を身に付けている」と答える生徒 75%以上 「家庭学習等に ICT 機器を活用している」と答える生徒 75%以上
		<p>(4)【読書による学びの深化、心の成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館利用の促進 「読書 MAP」の活用 新書等の読書案内 	<ul style="list-style-type: none"> 1 か月間の無読者 30%以下 年間を通して読書時間を伸ばすことができる 生徒「読書 MAP」への読後感の記入年 5 冊以上 読書が人の気持ちを考える、社会のことを知る、知識を得るなどに有用であると答える生徒 75%以上 新書をはじめ、自ら興味・関心のある分野の本を読んだ生徒 75%以上
イ	<p>自立的な生活習慣を確立し、互いを認め合い尊重する豊かな心を育む。</p>	<p>(1)【基本的生活習慣の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内での生徒・教職員のあいさつの励行 身だしなみ指導 SNS 等の継続的指導 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が率先して挨拶することで、「進んで挨拶ができる」生徒と教員の回答ギャップを 10%以内ににする 「正しい身だしなみ」生徒と教員の回答ギャップ 10%以内 SNS の適切な使用方法が身につけている生徒 100%
		<p>(2)【特別活動の活用】</p> <p>学校行事、生徒会活動、HR 活動への積極的な取組と効果的な運用及び思いやりの心と協調性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による企画・運営が進んでいる。 委員会・係活動が充実している生徒 80%以上
		<p>(3)【部活動の改善】</p> <p>持続可能な部活動体制の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 部活動が充実している生徒 80%以上 部活動改善ロードマップに基づく今後の設置部活動の決定や規約などの見直しが行われている。
		<p>(4)【交通安全教育・指導】</p> <p>自転車安全指導カード指導の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自転車安全指導カード交付件数年間 100 枚以下
		<p>(5)【健康の保持及び増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬学講座実施 年 1 回 保健だより発行 10 回～ 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムや食事など健康を維持することを意識している生徒 80%以上 治療勧告に対する受診率 75%以上
		<p>(6)【環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 丁寧な清掃、教室の整理整頓 ごみの減量・分別 	<ul style="list-style-type: none"> 教室等が公共の場として、安全で清潔な環境を整えることができる ごみの総量減少。分別されたごみ出しができています
		<p>(7)【豊かな感性の醸成】</p> <p>芸術鑑賞教室を活用した豊かな感性や鑑賞態度の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒満足度 80%以上 事後アンケートにより効果と課題が共有されている
ウ	<p>社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。</p>	<p>(1)国や地域の課題に関心を持ち、解決のために考え、行動できる基礎力の養成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 選管による出前授業や模擬投票等の実施を通して、生徒が具体的に国や地域の課題解決への関わる気持ちを高めることができる
		<p>(2)企業、福祉施設、大学等との連携によるキャリア教育の充実と職業観の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒向け進路ガイダンス 3 回以上実施 生徒・保護者向け進路講座年 3 回以上実施

		(3) 修学旅行を通して、平和意識を高め、各地域の自然や生活文化の違いを知り、集団における個の体験の蓄積	<ul style="list-style-type: none"> ・「平和について意識が高まった」「各地域の自然や生活文化の違いへの理解が深まった」「他者を思いやる言動ができた」と回答する生徒 90%以上
		(4) 高い目標を持たせる進路指導と進路目標の実現。 適切な進路情報の提供、必要に応じた特別指導（小論文、面接等）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生進路目標の実現の満足度 90%以上 ・必要な進路情報が入手できていると答える生徒 80%以上
エ	教育諸活動に係る生徒への支援体制の充実を図り、「信頼される学校」づくりに努める。	(1) 地域に信頼される学校づくりに向けた取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づく、教育活動の円滑な運用を行う ・行事等の目的と学校経営計画とのつながりを明確にして共有する
		(2) 喫緊の課題に対応した教員研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の多様な経験を生かす職員研修の実施とチームプロジェクトを充実し、生徒や保護者の困り感等の緩和や若手教員のスキルアップに繋げる
		(3) 相談室を核とした特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の会議に加え、必要に応じて随時ケース会議を行い迅速な対応態勢を整える。 ・SC や外部専門機関とのスムーズな接続がとられている ・相談室情報連絡会議年 7 回、特別支援委員会年 5 回
		(4) 適正かつ効率的な予算執行による教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・会計研修実施 年 1 回以上 ・適正かつ効果的な予算配分及び計画的な予算執行が行われている
		(5) 学校危機管理体制の向上及び防災意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの活用促進 ・校内防災訓練で防災意識が高まった生徒 80%以上 ・総合防災訓練又は地域防災訓練の参加生徒延べ 300 人以上
		(6) 学校便り、HP、SNS（インスタ）、学校公開、地域活動等による清流館高校の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 広報紙「清流館だより（5 月）」を発行し、魅力を周知している ・福祉科広報の充実 ・学校公開（年 2 回）参加者の満足度 90%以上 ・学校ホームページの充実
オ	「総合的な探究の時間」を柱として、外部との連携による学習機会の充実を図り、地域社会のリーダーとして活躍する人材を育む。	(1) SP の時間を通じた自己探究・進路探究の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・提案や行動に繋がる探究を行う。 ・探究を通して志望理由書等の進路資料作成スキルを向上させている ・年 1 回以上、中間発表会、探究活動発表会を実施し、年 3 回以上、校外での発表会に参加する ・県教育委員会「行きたい学校づくり探究推進事業」の志穂地区拠点校として、コンソーシアムの構築及び運営に取り組む

		(2)企業や行政と連携し、地域社会と協働した探究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津の魅力発信プロジェクトとキャリアデザイン講演会の実施 ・大学との連携による企画を実施し、生徒の学びの幅を広げる。
カ	<p>周囲との協調性を重視し、他者の人格や人権を尊重する豊かな人間性を備え、多様な他者と協働して活躍する人材を育む。</p>	(1)【他者の人格や人権を尊重する豊かな人間性を育む】	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み事を相談する人が一人でもいると回答する生徒 80%以上 ・相談室と連携して校内でのいじめを撲滅する ・学校いじめ対策組織やガイドラインの周知および点検と見直しが継続的に行われている。
		(2)HR活動、特別活動、部活動等を通じた異なる他者を尊重する雰囲気づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が充実していると回答する生徒 80%以上 ・居心地が良いクラスであると回答する生徒 80%以上
キ	<p>福祉・介護に関する知識及び技能を高め、持続可能な共生社会の担い手としての人材を育む。</p>	(1)福祉教育の充実及び地域と連携した人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の福祉への関心を高め、自ら課題を発見し、改善につながる提案ができる力を育む ・地域の高齢者施設・障害者施設と連携しながら、介護実習を実施する ・介護実習及び介護技術コンテスト等を通して、技量や意識を高める ・福祉科説明会、福祉科広報物の作成を通して、中学生や地域に福祉科教育への理解を図る
		(2) ボランティア活動、社会貢献活動への積極的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア、社会貢献活動に参加する生徒 60%以上
ク	<p>教職員が信頼し合い、長所を認めて学び合い、互いに職業人としての技量を一層高める。</p>	<p>(1)業務内容の見直し・改善への取組と業務の円滑な実施のための体制づくりの推進</p> <p>(2)教職員の心身の健康を確保する働き方改革の推進</p> <p>(3)各種会議の計画的実施と効率的な運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌における業務について、優先順位や軽重を再検討し、スリム化に取り組む ・デジタル採点システムを全校で活用し、業務の効率化、除法資産の管理・保護に取り組む。 ・効率的に業務を進め、時間外労働時間を昨年度より削減する ・業務の質と量、かける時間について自ら妥当性を考え、心身の健康を確保し、ウェルビーイングな学校の雰囲気醸成する ・会議時間短縮のための工夫の促進 ・夏季休暇取得率 100%

4 監査対象期間における特色ある取組

(1) 令和6年度

ア 社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。

取組概要	成果及び課題
(ア) キャリア教育の充実と職業観の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年保護者対象進路説明会（学校推薦型選抜） 5/8 進路課長 ・ 3年生看護医療系ガイダンス(20人参加) 5/16 ライセンス・アカデミー ・ 3年生対象進路講演会（面接対策①） 6/19 キッズ・コーポレーション ・ 3年生対象進路講演会（面接対策②） 6/26 キッズ・コーポレーション ・ 3年生看護面接練習 8/23 講師 東京医科歯科大学 看護師 ・ 就職面接指導（19人参加） 9/7 講師 PTA役員 ・ 就職試験激励会 9/12 対象 19名 ・ 3年生対象進路検討会 12/13 ・ 3年生対象出願検討会 1/24 ・ 2年生対象探究ガイダンス 「高校生と町づくりの実践例」 7/17 講師 鈴木、原田（NPO 法人若者の町） ・ 2年生対象 分野別ガイダンス 3/12 チェルコミュニケーションブリッジ ・ 1年生対象探究ガイダンス（SPの目的） 4/18 進路課長 ・ 1年生ファシリテーション研修（SDGsまとめ） 7/11 ライセンスアカデミー ・ 1年生対象キャリアデザイン講演会 7/18 講師 教育ジャーナリスト 山内太地 ・ 1年生対象 上級学校ガイダンス 12/4 キッズコーポレーション ・ 1年生対象職業人講話（地元の課題について） 9/26 藤枝市役所、ALSOK、田子重 石原水産、中島屋グランドホテル ・ 1年生探究フィールドワーク 7/2 焼津市内の企業・行政 ・ 一日ナース体験事業 7月下旬 静岡県看護協会主催 ・ 探究活動中間発表会 8/23 オンライン(Zoom)による開催 ・ 合格体験を聴く会 3/13 講師 R6年度卒業生

	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動全体発表会 3/17 ・新旧担任連絡会 4/3 指導方法の紹介、伝達 ・職員対象探究説明会 4/12 進路課長 ・職員対象研修 「志望理由書・推薦書指導」 6/7 野島先生（ライセンスアカデミー） ・探究プレゼンテーション講座（生徒9名参加） 第1回9/12、第2回9/18 講師 岩本武範教授（静岡産業大学） ・第1回土曜進路講座 「富士リハビリテーション大学校講演会」 12/7 赤岩龍士先生
(イ) 進路意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・進路掲示板の充実 ・GoogleDriveでの進路情報公開（オープンキャンパス） ・学年掲示板の充実 オープンキャンパス、上級学校説明会 ・Google クラウドでの進路情報公開 オープンキャンパス、上級学校説明会
(ウ) 「保護者向け講座」を開催	<ul style="list-style-type: none"> ◎保護者向け講座 <ul style="list-style-type: none"> ・「支援機構奨学金手続き説明・大学入試の現状」講座 対面ではなく動画配信 ◎保護者・生徒向け講座 <ul style="list-style-type: none"> ・「推薦制度、3年生進路決定状況等」講座 20名参加 12/7 進路課長 ・「校外模試個票の見方」26名参加 2/26 進路課長

イ 地域から信頼される学校として、積極的に学校の情報を発信するとともに、中長期的展望に立って学校の特色化作りに努める。

取組概要	成果及び課題
(ア) 学校情報の積極的発信	<ul style="list-style-type: none"> ◎CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）学校ホームページへの移行 <ul style="list-style-type: none"> ・旧来のホームページから新しい様式への移行作業を完了した。新ホームページは、旧来に比べ画像が鮮明なり、閲覧者にとってたいへん見やすくなっている。
(イ) メール配信による情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> ◎メール配信システムの運用による情報伝達 <ul style="list-style-type: none"> ・システム加入率 100% ・一斉メール配信回数 104回
(ウ) ICTを活用した授業の推進及びアクティブ・ラーニングの実践と評価	<ul style="list-style-type: none"> ◎ICTを活用した授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを効果的に活用する教員の割合 85%以上 ・各教室プロジェクターやスクリーンの配備 ◎アクティブ・ラーニングの実践と評価方法の研究

	<ul style="list-style-type: none"> 各教科における評価方法の検討と授業参観の実施 <p>◎教職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業改善に向けた、Google for Education 使用や ICT 活用の研修会の実施 教職員の先進的研究会・研修会等への参加
<p>(エ) 未来起点から本校の在るべき姿の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末の整備 Instagramによる学校広報の充実 教育課程の見直し 	<p>◎未来起点から本校の在るべき姿や学校改善について検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末 100%保有。 <p>◎学校Instagramによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式Instagramを活用し、授業やSP（総合的な探究の時間）、各種行事、部活動、学校案内、学校公開などタイムリーな情報を定期的に発信している。フォロワー数は3,700名を超え、清流館高校を広く知ってもらうための情報発信媒体となっている。 教育課程検討委員会を開催し、福祉科「福祉情報」から「情報I」への変更案などの検討を行った。
<p>(オ) ボランティア活動への積極的参加</p>	<p>◎JRC部（14人）ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 【4～2月】高校生メンバー研修会「ウミガメと環境（6月）」（web校内実施）、藤枝市平和展でJRCとこども食堂について発表（8月）、「海岸清掃（9月）於さがらサンビーチ」、「防災について（9月、於静岡支部）、「NHK海外たすけあい街頭募金活動（12月）」、 【4月～3月】こども食堂お結び（毎月）、クリスマスコンサート（12月吹奏楽部・生活科学部と共催（近隣の通所施設の方々を招待 於：すいせん）
<p>(カ) 福祉教育の推進</p>	<p>◎福祉科の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> Instagram情報更新 福祉科紹介パンフレット <p>◎国家資格「介護福祉士」全員合格</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去問演習等による実力養成等 <p>◎東海地区高校生介護技術コンテスト出場</p> <p>◎施設での校外実習の実施</p> <p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年：7月2日～7月23日 2年：7月2日～8月19日 3年：6月19日～8月22日 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年：10月16日～10月26日 2年：10月16日～10月31日 <p>◎福祉講演会の実施</p> <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> 「点字について」点字サークル六星会

	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害のある生活」焼津市難聴者・中途失聴者の会 ・「手話講習会」焼津市ろうあ福祉会 ・「盲導犬との暮らし」池ヶ谷 則子氏 <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認知症サポーター養成講座」 <p>焼津市健康福祉部地域包括ケア推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「減災セミナー」「救急法救急員養成講習会」 <p>日本赤十字社静岡県支部</p> <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認知症カフェについて」チームオレンジ清流館
--	--

ウ 海外及び国内の修学旅行を通じて、平和の大切さを思う心を育み、幅広い教養、国際感覚を身につけさせる。

<p>令和6年度修学旅行</p> <p>1 実施期間 12月9日(月)～12月12日(木) (3泊4日)</p> <p>2 目的地 沖縄県那覇市、中頭郡北中城村、 名護市</p> <p>3 参加人数 196人(男61人、女135人)</p> <p>4 参加人数 0人(男0名、女0名)</p>	<p>○事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習と発表 10のトピックから2つを選び、特色や見どころを紹介するPOPを各自2枚作成し、各クラス内で発表するとともに、掲示し共有した。 ・11月13日(LHR)オンライン講演、50分間 講師：稲住光祐/沖縄観光コンベンションビューロー 平和学習と沖縄の歴史・文化について ・教科学習 論理国語では、戦争の惨禍を伝える実物資料の展示についての評論を読み、実物資料の意義や展示の工夫からメッセージを読み取ることを学んだ。 英語コミュニケーションⅡでは、英文で書かれた沖縄に関する話題を読み解くことで、自国の文化・歴史を英語で理解し表現する力を養った。 日本史探究では、三山時代から現代までの歴史の経過を学習した。 <p>○コース別研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3日目(12/11)には3コースに分かれ、マリン、カヌーによる自然体験や沖縄ならではの景観を味わう研修を行った。 <p>○事後アンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひめゆりの塔やひめゆり平和祈念資料館は満足のいく研修であったか」について、生徒は「とてもそう思う57.8%」「そう思う40.1%」と回答した。また、ひめゆり祈念資料館では、「実物資料、元生徒の証言や一人一人のドラマを見て「ヌチドゥタカラ」の重要性がここに行ったからこそ分かった」など深い感銘を受けた記述が多数見られた。 ・「ガン入壕体験は満足のいく研修であったか」について、生徒は「とてもそう思う59.9%」「そう思う32.6%」
--	--

	と回答した。「視覚や感覚を通して、当時の状況を身近に感じ、ガマ内で過ごしていた人々の気持ちに共感できた。」「この体験は二度とできない貴重なものだと感じ、今後の人生で忘れないようにしたいと思った。」など、実体験がもたらす事実の重みを感じ、平和を希求する心を我々の課題としてとらえ、継承しようとする精神の芽生えが見られた。
--	---

(2) 令和7年度（9月30日まで）

ア 社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。

取組概要	成果及び課題
(ア) キャリア教育の充実と職業観の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年保護者対象進路説明会（学校推薦型選抜） 5/9 進路課長 ・ 3年生看護医療系ガイダンス(20人参加) 5/14 ライセンス・アカデミー ・ 3年生対象進路講演会（面接対策） 7/9 キッズ・コーポレーション ・ 3年生看護面接練習 8/20 講師 東京医科歯科大学 看護師 ・ 就職面接指導（26人参加） 9/6 講師 PTA役員 ・ 就職試験激励会 9/10 対象26名 ・ 1年生対象探究ガイダンス（SPの目的） 4/18 進路課長 ・ 1年生対象キャリアデザイン講演会 7/18 講師 教育ジャーナリスト 山内太地 ・ 1年生探究フィールドワーク 7/2 焼津市内の企業・行政 ・ 一日ナース体験事業 7月下旬 静岡県看護協会主催 ・ 新旧担任連絡会 4/3 進路指導方法の紹介、伝達 ・ 職員対象研修 「志望理由書・推薦書指導」 7/2 野島先生（ライセンスアカデミー） ・ 探究プレゼンテーション講座（生徒23名参加） 第1回9/8、第2回9/17 講師 岩本武範教授（静岡産業大学）
(イ) 進路意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年掲示板、進路掲示板の充実 オープンキャンパス、上級学校説明会、各種奨学金の情報提供 ・ Google クラスルームでの進路情報公開 オープンキャンパス、上級学校説明会

(ウ) 「保護者向け講座」を開催	◎保護者向け講座 ・「支援機構奨学金手続き説明」講座 対面ではなく動画配信
------------------	---

イ 地域から信頼される学校として、積極的に学校の情報を発信するとともに、中長期的展望に立って学校の特色化作りに努める。

取組概要	成果及び課題
(ア) 学校情報の積極的発信	◎学校Instagramによる情報発信 ・公式Instagramを活用し、各種行事、部活動、学校案内、学校公開などタイムリーな情報を定期的に発信している。 ・中学生へのアンケートでも「Instagramから情報を得ている」との回答が多く、清流館高校を広く知ってもらうための情報発信媒体となっている。 ・フォロワー数は年々増加し、現在は4,000人を超えた。 ◎CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）学校ホームページへの充実 ・昨年度、旧来のホームページから新しい様式への移行作業を完了した。本年度は閲覧者にとって、より見やすく、よりわかりやすいホームページを目指してリニューアル作業を行っている。 ◎8月1日（金）学校説明会 ・大井川文化会館ミュージコにて学校説明会を実施した。 ・焼津市、藤枝市、島田市、吉田町など、近隣中学校の生徒、保護者を合わせて1,003名の来場があった。 ・学校の概要や進路状況の説明に加え、応援団や吹奏楽部の演奏などを行い、来場者からもたいへん好評であった。
(イ) メール配信による情報伝達	◎メール配信システムの運用による情報伝達 ・システム加入率を100%とする。 ・一斉メール配信回数58回（9/30現在）
(ウ) ICTを活用した授業の推進及び、アクティブ・ラーニングの実践と評価	◎ICTを活用した授業の実践 ・ICTを効果的に活用する教員の割合85%以上 ◎アクティブ・ラーニングの実践と評価方法の研究 ・各教科における評価方法の検討と授業参観の実施 ◎教職員の資質向上 ・授業改善に向けた、Google for Education使用やICT活用の研修会の実施 ・教職員の先進的研究会・研修会等への参加 ◎BYODによる一人一台端末の整備。
(エ) 本校の在るべき姿の検討（改革推進委員会）	・教育課程検討についての教科会の開催、意見の集約 教育課程検討委員会を10月に開催する予定 ・特進クラス検討委員会の開催

	<ul style="list-style-type: none"> 福祉科の志願者を増加させる方策の検討 学校公開（11月）における、福祉科の授業公開及び福祉科説明会を実施する予定
(f) ボランティア活動への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ◎ JRC部（9人）ボランティア活動 ・【4～9月】あしなが学生募金活動、静岡県赤十字高校生メンバー研修会「防災、炊き出し体験など」（7月、於静岡支部）「県外研修」（8月）「清掃活動」（9月）。 ・こども食堂お結び（毎月）
(g) 福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎福祉科の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉科ニュース」発行（2回） ・インスタグラム情報更新 ・校内福祉科掲示板新設 ◎国家資格「介護福祉士」全員出願 ◎東海地区高校生介護技術コンテスト出場 最優秀賞、全国大会（10月）出場権獲得 ◎生徒体験発表「本審査」（全国大会）出場 ◎施設での校外実習の実施 【前期】 <ul style="list-style-type: none"> ・1年：7月7日～7月15日 ・2年：7月2日～7月16日 ・3年：6月19日～7月17日 福祉講演会 1年 <ul style="list-style-type: none"> ・「盲導犬との暮らし」池ヶ谷 則子氏 ・「点字体験」点字サークル六星会 2年 <ul style="list-style-type: none"> ・「認知症サポーター養成講座」 焼津市健康福祉部地域包括ケア推進課 ・「減災セミナー」「救急法救急員養成講習会」 日本赤十字社静岡県支部

ウ 海外及び国内の修学旅行を通じて、平和の大切さを思う心を育み、幅広い教養、国際感覚を身につけさせる。

令和7年度修学旅行 沖縄 12月8日～12月11日（3泊4日）	<ul style="list-style-type: none"> ○事前学習 ・1年次「公共」の授業の中で、沖縄の基地問題を学習し、グループでその解決策を考え、グループスライドを使ってクラスで発表した。（50分×3回） ・夏休みの英語教材としてHeart of OKINAWA～沖縄平和と共生の心～を採用し、自分たちが選んだテーマについてクラスで発表し合うことで基礎知識を身につける。 ・「動画視聴＋問題に解答」（10分×4回） ①自然・環境編
---------------------------------------	---

	<p>②歴史・文化編</p> <p>③産業編</p> <p>④平和編</p> <p>○LHR時の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・オンライン事前研修（平和学習） コンベンションビューロー 宮川 光世 様（50分）・今回の行き先について、各クラスで分担を決めて調べ、模造紙にまとめたものを教室前の廊下に掲示する。例）チビチリガマ、シムクガマ、「さとうきび畑」歌碑、掩体壕、読谷村（民泊先）、首里城など （50分×3回）
--	--

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位：人)

		転出	退職	退職 (再任用)	昇任	転入	新任	新任 (再任用)	差引 増減	
本 務 職 員	教 育 職 員	校 長								
		副 校 長								
		教 頭	1				1		0	
		教 諭	3	5			4	2	1	△ 1
		養 護 教 諭								
		実 習 助 手		1						△ 1
	小 計		4	6	0	0	5	2	1	△ 2
	行 政 職 員	事 務 長								
		主 査				1				1
		主 任				△ 1				△ 1
小 計		0	0	0	0	0	0	0	0	
本 務 計		4	6	0	0	5	2	1	△ 2	
臨 時 ・ 非 常 勤 職 員	教 諭		1				1		0	
	実 習 助 手						1		1	
	非 常 勤 講 師		2				8		6	
	非 常 勤 嘱 託 員		1				1		0	
	非 常 勤 労 務 職 員									
	学 校 医 等									
臨 時 ・ 非 常 勤 計		0	4	0	0	0	11	0	7	
合 計		4	10	0	0	5	13	1	5	

(2) 現員数 (令和7年9月30日現在)

(単位：人)

	本 務 職 員											臨 時 ・ 非 常 勤 職 員					合 計		
	教 育 職 員						行 政 職 員					教 諭	実 習 助 手	非 常 勤 講 師	非 常 勤 労 務 職 員	学 校 医 等		臨 時 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	小 計	事 務 長	主 査	主 任	小 計								本 務 計
計	1	1	1	38	1	2	44	1	2	2	5	49	3	1	12	3	5	24	73

(3) 健康管理について

令和6年度

定期健康診断について	定期健康診断（生活習慣病検診、指定年齢検診、人間ドック）の一次検査について受診率は、100%である。
職場環境の向上について	<ul style="list-style-type: none">・毎月1回職員安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善について検討し、職場環境の改善に努めた。・職員室及び執務室の空調設備については、扇風機を併用する等の節電対策を考慮しつつ、各室の執務環境の整備に努めた。・執務環境に関するアンケート及び安全点検を実施した。・健康管理医による職場巡視での指摘を受け、職員室の蛍光灯を一部取り替えて、室内の照度を高めた。・職員のための健康づくり講座「護身術」を外部講師を招いて開催した。講話と実技を通して、自分自身の身を自分で守るための知識を学び、より安心して勤務や通勤、日常生活を送るための術を見につけた。

令和7年度（4月～9月末）

定期健康診断について	定期健康診断（生活習慣病検診、指定年齢検診、人間ドック）の一次検査について受診率は、100%の予定である。
職場環境の向上について	<ul style="list-style-type: none">・毎月1回職員安全衛生委員会を開催し、職場環境の改善について検討し、改善策を講じている。・執務環境に関するアンケート及び安全点検を実施した。・健康管理医による職場巡視で、トイレに設置されているアルコール消毒液について、洗った手をしっかり乾かしてから利用しないと意味がないとアドバイスを受けた。・執務環境に関するアンケートの結果より、職員室及び給湯室の美化を呼び掛けた。・職員のための健康づくり講座「頭スッキリ！簡単セルフヘッドスパ」の開催（11/27）にむけて準備を進めた。

(4) 教職員の研修について

令和6年度

<p>研修の目的</p>	<p>1 喫緊の課題に対応した教職員研修の実施 2 広報活動の充実 3 年次別チームプロジェクトの推進</p>	
	<p>研修内容</p>	<p>実績（成果）と課題</p>
<p>校内研修</p>	<p>ア 全体研修の実施 (ア) 4月12日(金) 「探究研修」 (イ) 5月8日(水) 「ICT活用研修会①」 (ウ) 6月7日(金) 「Instagram活用研修」 (エ) 8月27日(火) 「ICT活用研修会②」 (オ) 1月22日(水) 「清流館高校の現状と課題」 (カ) 2月7日(金) 「情報研修」 イ 選択希望研修 (ア) 6月12日(水) 「スタディサプリ活用研修」 (イ) 6月27日(金) 「ケーススタディ」 (ウ) 7月2日(火) 「テレビ寺子屋」 (エ) 9月11日(水) 「進路講演会」 ウ 年次別チーム研修 エ サービス、規律に関する研修 各月の職員会議後</p>	<p>ア 職員研修会の企画・運営 (ア) 総合的な探究の時間に関する基本事項を確認し、職員全体で目標や年間計画の共通理解を図った。 (イ) グーグル関連のアプリの使い方について学び、効果的な活用方法を協議した。 (ウ) インスタグラム講習会を行い、効果的な情報発信の仕方などについて学んだ。 (エ) 百問繚乱の採点システムを活用した業務改善のための研修を行った。 (オ) 生徒の自己信頼、自律的な学習、生徒自治、社会貢献意識の醸成に向けての研修を行った。 (カ) 個人情報保護の重要性を認識し、取り扱いについての研修を実施した。 イ 選択希望研修への支援 (ア) スタディサプリを使った指導の事例を紹介したり、学び直しや授業内容の定着などについての情報共有を行った。 (イ) グループワークによるケーススタディを行い、問題改善や組織的な対応について協議した。 (ウ) 本校総務課の依頼を受け、希望する保護者とともに、テレビ寺子屋の公開講座に参加した。 (エ) 東京都市大学 野島一郎先生に来校いただき、「進路指導について」と題して、大学入試の動向や調査書の書き方などについてご指導いただいた。 ウ 年次別チームプロジェクト（下記①～④）の実施 ①ICT活用 ②学校広報（学校案内・公開） ③学校広報（インスタグラム） ④授業関係 エ コンプライアンス研修の実施 不祥事根絶へ向けた職員の意識向上と、法規や規定の周知及び理解の促進を図った。</p>
<p>校外研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科研究会主催の研修、近隣小・中・高等学校で開催される教科研究会、各種講演会等の情報提供と参加の促進。 ・総合教育センターにおける各種研修（教職研修・教科研修等）の情報提供と参加の促進。 ・教育関連企業等主催の学習指導研修会や進路指導研修会の情報提供と参加の促進。 ・上記の主催者のオンライン研修も含む。 	

令和7年度（4月～9月末）

<p>研修の目的</p>	<p>1 授業力向上のための教員研修を実施する。 2 ホームページやSNSを使った広報活動の充実を図る。 3 学校説明会の企画・運営</p>	
	<p>研修内容</p>	<p>実績（成果）と課題</p>
<p>校内研修</p>	<p>1 全体必須研修の実施 (ア) 4月および9月 「スタディサプリ活用研修」 (イ) 8月28日（木） 「清流館高校の現状と課題」 2 選択希望研修 (ア) 4月18日（金） 「Instagram活用講習」 (イ) 6月3日（火） 「テレビ寺子屋」 (ウ) 7月2日（水） 「進路講演会」 3 年次別チーム研修 (ア) 4月11日（金） 「年次別研修ガイダンス」 (イ) 4月・5月・6月 「年次別チームプロジェクト」 (ウ) 毎月 「初任者研修」 4 服務、規律に関する研修 各月の職員会議後</p>	<p>1 職員研修会の企画・運営 (ア) スタディサプリを使った指導の事例を紹介したり学び直しや授業内容の定着などについての情報共有を行った。 (イ) 生徒に実施したアセスメント・アンケートの結果をもとに学校改善の実践研究の発表を行った。 2 選択希望研修への支援 (ア) Instagramを活用した効果的な情報発信の仕方について学んだ。 (イ) 本校総務課の依頼を受け、希望する保護者とともに、テレビ寺子屋の公開講座に参加した。 (ウ) 東京都市大学 野島一郎先生に來校いただき、「進路指導について」と題して、大学入試の動向や調査書の書き方などについてご指導いただいた。 3 年次別チームプロジェクトの実施 (ア) 年間研修計画書の作成 (イ) 年次別研修の企画・運営 ①学校広報（学校案内・ポスター作成） ②学校紹介動画の作成 (ウ) 教育活動の報告と対話 4 コンプライアンス研修の実施 不祥事根絶へ向けた職員の意識向上と、法規や規定の周知及び理解の促進を図った。</p>
<p>校外研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科研究会主催の研修、近隣小・中・高等学校で開催される教科研究会、各種講演会等の情報提供と参加の促進。 ・総合教育センターにおける各種研修（教職研修・教科研修等）の情報提供と参加の促進。 ・教育関連企業等主催の学習指導研究会や進路指導研究会の情報提供と参加の促進。 ・上記の主催者のオンライン研修も含む。 	

6 防災対策について

令和6年度

達成目標	実績（成果）と課題
<p>(1) 知識・情報の伝達 県が発表した第四次被害想定に基づき策定した防災計画にしたがい、南海トラフ地震情報・津波情報等についての伝達訓練</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月、新入生に避難場所調査表を提出させるとともに、在校生に変更の有無を確認させ、避難する際の状況把握を行った。
<p>(2) 各地域での防災訓練 9月 総合防災訓練 12月 地域防災訓練</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の総合防災訓練は各自治体の訓練内容に応じて生徒へ参加を呼びかけた。 ・ 12月の地域防災訓練へ向け、参加報告書を配布し参加を呼びかけた。
<p>(3) 校内防災訓練 6月 防災訓練（地震） 防災地区別集会 11月 防災訓練（火災）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6／5（水）に地震避難訓練を実施した。グラウンドへの避難後、生徒は所属する防災地区別に集合し、南海トラフ地震情報・津波情報の対応や本校敷地及び校舎、居住地区の被害予想の確認等を行った。 ・ 11／6（水）、火災発生を想定した避難訓練と学年ごとの活動（1年…防災講座、2年…水消火器訓練、3年…煙体験）を行った。
<p>(4) 防災教育 防災意識啓蒙を目的とした講座の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の火災防災訓練では、学年ごとの活動として1年生が焼津市防災計画課の防災講座に参加した。
<p>(5) 地域防災連絡会議 地元自治体責任者、市担当職員、町内会役員、本校担当職員による地域防災連絡会議の開催 同時に市の防災部との連携確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7／29（月）地域防災連絡会議を本校会議室にて開催した。 ・ 地元自治会参加者…13名 ・ 焼津市地域防災課…1名 防災計画課…1名 ・ 本校職員…6名 ・ 避難所として使用が予定されている体育館や校舎等の見学を行った。その後、避難所運営や発災時の対応等について協議した。
<p>(6) 防災委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5／27（月）全職員で危機管理マニュアルの読み合わせを実施し、発災時の対応や役割分担などを確認した。また、6月の防災地区別集会に向けて、ハザードマップの活用法を確認した。

令和7年度（4月～9月末）

達成目標	実績（成果）と課題
(1) 知識・情報の伝達 県が発表した第四次被害想定に基づき策定した防災計画にしたがい、南海トラフ地震情報・津波情報等についての伝達訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月、新入生に避難場所調査表を提出させるとともに、在校生に変更の有無を確認させ、避難する際の状況把握を行った。また、浜岡原子力発電所から自宅までの直線距離を調べ、PAZ（5km圏内）・UPZ（30km圏内）・30km以上離れているかを確認させた。
(2) 各地域での防災訓練 10月 総合防災訓練 （焼津市・藤枝市） 12月 地域防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月の総合防災訓練は各自治体の訓練内容に応じて生徒へ参加を呼びかける予定。 ・ 12月の地域防災訓練へ向け、参加報告書を配布し参加を呼びかける予定。
(3) 校内防災訓練 6月 防災訓練（地震） 防災地区別集会 11月 防災訓練 （自衛隊による防災講話）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6／11(水)に地震避難訓練を実施した。グラウンドへの避難後、生徒は所属する防災地区別に集合し、南海トラフ地震情報・津波情報の対応や本校敷地及び校舎、居住地区の被害予想の確認等を行った。 ・ 11／5(水)、南海トラフ地震を見据えた自衛隊による展開訓練及び自衛隊による防災講話を実施する予定。
(4) 防災教育 防災意識啓蒙を目的とした講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の防災訓練では、自衛隊の防災講話に参加予定。
(5) 地域防災連絡会議 地元自治体責任者、市担当職員、町内会役員、本校担当職員による地域防災連絡会議の開催 同時に市の防災部との連携確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7／28(月)地域防災連絡会議を本校会議室にて開催した。 ・ 地元自治会参加者…13名 ・ 焼津市地域防災課…2名 防災計画課…1名 ・ 本校職員…5名 ・ 避難所として使用が予定されている体育館や校舎等の見学を行った。その後、避難所運営や部屋割りの改善案、発災時の対応等について協議した。
(6) 防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5／27(月)危機管理マニュアルの読み合わせを実施した。発災時の対応や役割分担などを確認した。(昨年度からの変更点を中心に)

7 学校開放について

令和6年度

施設名	利用種目	利用回数 (回)	利用人数 (人)	利用者負担金
体育館	バレーボール	48	452	電気料 45,711 円
	バドミントン	29	264	
	バスケットボール	29	265	
	体 操	281	5,161	
	柔 道	121	1,967	
	合 気 道	38	400	
合 計		546	8,509	

令和7年度 (9月末現在)

施設名	利用種目	利用回数 (回)	利用人数 (人)	利用者負担金
体育館	バレーボール	26	226	電気料 26,450 円
	バドミントン	19	212	
	バスケットボール	84	984	
	体 操	114	2,780	
	柔 道	63	954	
	合 気 道	21	204	
合 計		327	5,360	

□□□□□□□□

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条 第2条） 学校教育法（第1条 第2条 第3条 第50条 第51条 第52条 第56条 第57条 第59条 第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 いじめ防止対策推進法
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条 第22条） 学校保健安全法（第15条 第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条 第45条 第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条 第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県公立高等学校等就学支援金事務処理要領 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱 静岡県個人情報保護条例 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び静岡県高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）

□□□□□ □

学校施設の概要

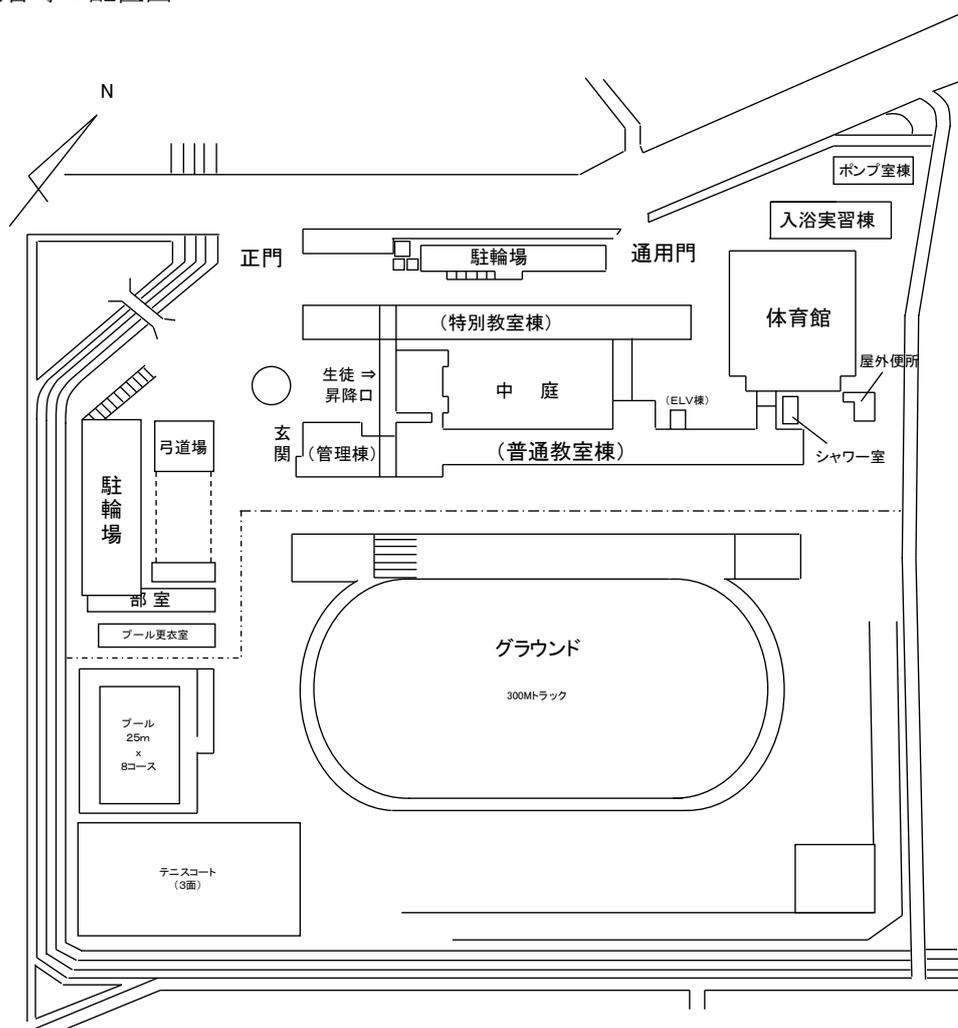
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民有 m ²	
学 校 敷 地	39,954.80	39,954.80					
内 訳	校 舎 敷 地	17,316.00	17,316.00				
	運 動 場 敷 地	22,638.80	22,638.80				
校 舎	建 3,471.39	建 3,471.39					
	延 9,608.06	延 9,608.06					
体 育 館	建 1,333.26	建 1,333.26					
	延 2,591.30	延 2,591.30					
武 道 場	(建 —) (延 589.07)	(建 —) (延 589.07)					体育館内 併設
その他の建物	建 1,236.59	建 1,193.39			建 43.20		シャワー室
	延 1,847.49	延 1,804.29			延 43.20		
プ ー ル	1	1					8コース 25m×16m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	39,954.80 m ²	9,608.06 m ²	22,638.80 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在籍生徒調

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別 区分	普通科				福祉科				(合 計)			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者	160	59	109	168	40	4	32	36	200	63	141	204
	増加												
	減少			1	1						1	1	
	現在		59	108	167		4	32	36		63	140	203
2年	入学者	160	63	101	164	40	5	22	27	200	68	123	191
	増加												
	減少		1		1						1		1
	2年時当初		62	101	163		5	22	27		67	123	190
	増加												
	減少		1	1	2						1	1	2
現在		61	100	161		5	22	27		66	122	188	
3年	入学者	160	57	104	161	40	6	34	40	200	63	138	201
	増加												
	減少		2	2	4						2	2	4
	2年時当初		55	102	157		6	34	40		61	136	197
	増加												
	減少			1	1			1	1			2	2
	3年時当初		55	101	156		6	33	39		61	134	195
	増加												
減少													
現在		55	101	156		6	33	39		61	134	195	
合 計		480	175	309	484	120	15	87	102	600	190	396	586

入学志願者及び入学者数調

区分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学科別		普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科	普通科	福祉科
生徒定員(A)		200	40	160	40	160	40	160	40	160	40
募集者数(B)		200	40	160	40	160	40	160	40	160	40
志願者数	男	54(1)	10	72	6	57	6	69	4	67	3
	女	117	27	110	33	111	35	111	18	123	29
	計(C)	171(1)	37	182	39	168	41	180	22	190	32
受検者数	男	54(1)	10	72	6	57	6	69	4	67	3
	女	116	25	109	32	110	35	109	18	121	29
	計(D)	170(1)	35	181	38	167	41	178	22	188	32
合格者数	男	54(1)	10	63	7	57	6	63	5	59	4
	女	116	25	98	33	104	34	101	22	109	32
	計(E)	170(1)	35	161	40	161	40	164	27	168	36
志願倍率(C)/(B)		0.86	0.93	1.14	0.98	1.05	1.03	1.13	0.55	1.19	0.80
受検倍率(D)/(B)		0.85	0.88	1.13	0.95	1.04	1.03	1.11	0.55	1.18	0.80
入学者数	男	55	10	63	7	57	6	63	5	59	4
	女	116	25	98	33	104	34	101	22	109	32
	計(F)	171	35	161	40	161	40	164	27	168	36
充足率(F)/(A)		0.86	0.88	1.01	1.00	1.01	1.00	1.03	0.68	1.05	0.90

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普 通 科			福 祉 科			(計)		
年 度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
卒業生徒数		188	169	156	22	33	40	210	202	196
内 訳	(進学志願者)	180	156	142	17	25	32	197	181	174
	進学者									
	大学・短大	87	78	78	3	10	10	90	88	88
	専修・各種学校等	90	75	62	14	15	21	104	90	83
	小 計	177	153	140	17	25	31	194	178	171
	就職者	8	10	14	4	8	7	12	18	21
	自 営 者	0	0		0	0		0	0	0
	進学準備者	2	3	2	0	0	1	2	3	3
その他の	1	3		1	0	1	2	3	1	
合 計		188	169	156	22	33	40	210	202	196

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和7年度
就職希望者数	12	18	21
求 人 数	261	243	213
求 人 倍 率	21.75	13.50	10.14

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		普 通 科	福 祉 科	(計)
卒業生徒数		156	40	196
資 格 の 取 得 状 況 (種 類 別)	介護福祉士		40	40
	文部科学省認定実用英語技能検定 1級	1		1
	文部科学省認定実用英語技能検定 2級	9		9
	文部科学省認定実用英語技能検定 準2級	15	1	16
	日本漢字能力検定 2級	7		7
	日本漢字能力検定 準2級	23	10	33
	実用数学技術検定 2級	3		3
	実用数学技術検定 準2級	1		1
	保育技術検定 3級	7		7
	保育技術検定 4級	7		7
合 計		73	51	124

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	焼津市	藤枝市	島田市	牧之原市	吉田町	御前崎市	その他	合計
生徒数	222	143	71	58	77	8	7	586
構成比%	37.9	24.4	12.1	9.9	13.1	1.4	1.2	100.0

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	バス	バス・電車	その他	合計
生徒数	4	478	55	28	21	586
構成比%	0.7	81.5	9.4	4.8	3.6	100.0

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	9	/	21
男子	1年	47	14	2	63
	2年	48	18	0	66
	3年	45	16	0	61
	計(A)	140	48	2	190
	構成比	23.9%	8.1%	0.3%	32.4%
女子	1年	54	86	0	140
	2年	53	69	0	122
	3年	50	84	0	134
	計(B)	157	239	0	396
	構成比	26.8%	40.9%	0.0%	67.6%
合計	(A) + (B)	297	287	2	586
	構成比	50.7%	49.0%	0.3%	100.0%

余白

授業料収納状況調

期 別	月 別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
	4	人	円	人	円	人	円	人	円
一 期	4								
	5								
	6								
	7	23	683,100	40	1,188,000	25	742,500	88	2,613,600
	計	23	683,100	40	1,188,000	25	742,500	88	2,613,600
二 期	7								
	8								
	9								
	10	28	1,386,000	44	2,178,000	26	1,287,000	98	4,851,000
	11			▲1 ▲1	▲49,500 ▲49,500	▲1	▲49,500	▲3	▲148,500
	12					▲1	▲49,500	▲1	▲49,500
	計	28	1,386,000	42	2,079,000	24	1,188,000	94	4,653,000
三 期	12								
	1	27 1	1,069,200 9,900	42	1,663,200	24	950,400	93 1	3,682,800 9,900
	2								
	3								
	計	28	1,079,100	42	1,663,200	24	950,400	94	3,692,700
合 計		79	3,148,200	124	4,930,200	73	2,880,900	276	10,959,300

(令和6年度)

収納の状況				異動者等の状況
納期内収納額		納期後 収納額	収入未済額	
円	収納率 %			
				A. 期首収納権利発生額=2,613,600円 (88人×9,900円×3月)
				B. 収納権利増減(▲)額= 0円
2,613,600	100.0		0	C. 収納必要額A(±)B=2,613,600円
2,613,600			0	
				A. 期首収納権利発生額=4,851,000円 (98人×9,900円×5月)
				B. 収納権利増減(▲)額=▲198,000円 <内訳>
4,752,000	98.0		99,000	11月:就学支援金認定 2年:2人×9,900円×5月=▲99,000円 3年:1人×9,900円×5月=▲49,500円
▲148,500		99,000	0	12月:就学支援金認定 3年:1人×9,900円×5月=▲49,500円
▲49,500			0	C. 収納必要額A(±)B=4,653,000円
4,554,000		99,000	0	
				A. 期首収納権利発生額=3,722,400円 (94人×9,900円×4月)
3,564,000 9,900	96.8		118,800	B. 収納権利増減(▲)額=▲29,700円 <内訳>
		118,800	0	12月31日:1年:転学 1人×9,900円×3月=▲29,700円
3,573,900		118,800	0	C. 収納必要額A(±)B=3,692,700円
10,741,500	98.0	217,800	0	D. 収納必要額= 10,959,300円

□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年9月30日現在
	件 数	件 数
全日制高等学校入学検定料	218	0

□□□□□□□□

預 金 調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
島田掛川信用金庫 大井川支店	無利息型 普通預金	0428942	静岡県立清流館高等学校 資金前渡者 山梨 祥子	0	給料等
静岡銀行 大井川支店	無利息型 普通預金	0376086	(自振口)静岡県立清流館高等学校 資金前渡者 校長 山梨 祥子	0	光熱水費等 引落口座
残高合計				0	

□□□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)
(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度						差引現在高	摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵便	10円券	42	420	0	0	26	260	16	160	0	0	16	160	0	0	通信用
	26円券	0	0	3	78	3	78	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	42	3,528	30	2,520	72	6,048	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100円券	10	1,000	15	1,500	9	900	16	1,600	0	0	16	1,600	0	0	
	110円券	0	0	23	2,530	23	2,530	0	0	90	9,900	73	8,030	17	1,870	
	レターパック プラス520	2	1,040	40	20,800	42	21,840	0	0		0		0	0	0	
	レターパック プラス600	0	0	31	18,600	31	18,600	0	0	71	42,600	37	22,200	34	20,400	
計			5,988		46,028		50,256		1,760		52,500		31,990		22,270	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	2,456,517	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		520,250	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		680,000	
計					2,539,008	3,656,767	0
(14)工事請負費					/	0	
計					800,800	0	
(16)公有財産購入費					/	0	
計						0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	906,400	0
計					1,111,000	906,400	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		58,388,600	0
計					60,026,180	58,388,600	0
(21)補償、補填及び賠償金					/	0	
計						0	0

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12)委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	754,328	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	105,092	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					859,420	0
(14)工事請負費					0	0
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17)備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,041,700	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					1,041,700	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	14,581,380	0
計					14,581,380	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要	
			当初設計金額	当初額	変更増減額							計
1	可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡環境保全センター	円 運搬料 1回当単価 2,200円 処分料 1kg当単価 14.63円	円 運搬料 1回当単価 1,980円 処分料 1kg当単価 14.63円	円 0	円 運搬料 1回当単価 1,980円 処分料 1kg当単価 14.63円	随契	自 6. 4. 5 至 7. 3. 31	6. 5. 24 6. 6. 19 6. 7. 16 6. 8. 16 6. 9. 17 6. 10. 15 6. 11. 20 6. 12. 19 7. 1. 29 7. 2. 20 7. 3. 18 7. 4. 15 小計	円 43,588 43,442 43,340 48,777 25,607 43,237 49,713 50,620 46,251 43,442 42,481 45,358 525,856	可燃物収集運搬処分 紙屑、生ごみ、木屑 及び草・葉 (清流館高校) 毎週火曜日、金曜日 の95回/年 (藤枝特別支援学校) 毎週火曜日、金曜日 の95回/年	単価契約 随契1号 (少額) 藤枝特支
2	産業廃棄物(廃プラスチック類)収集運搬処分業務	(株)アドバンス中部サービス	円 運搬料 1回当単価 3,520円 処分料 1kg当単価 132円	円 運搬料 1回当単価 3,520円 処分料 1kg当単価 132円	円 0	円 運搬料 1回当単価 3,520円 処分料 1kg当単価 132円	随契	自 6. 4. 10 至 7. 3. 31	6. 6. 19 6. 12. 18 小計	16,185 14,990 31,175	産業廃棄物(廃プラスチック)収集運搬処分	単価契約 随契1号 (少額)
3	産業廃棄物(混合)収集運搬処分業務	(株)アドバンス中部サービス	円 処分料 (運搬料込み) 1箱 2㎡当単価 27,500円	円 処分料 (運搬料込み) 1箱 2㎡当単価 27,500円	円 0	円 処分料 (運搬料込み) 1箱 2㎡当単価 27,500円	随契	自 6. 4. 10 至 7. 3. 31	6. 6. 19 6. 9. 18 7. 3. 28 小計	27,500 27,500 27,500 82,500	産業廃棄物(混合)収集運搬処分	単価契約 随契1号 (少額)
4	浄化槽保守点検業務	ニッケン消毒(株)	520,850	520,850	0	520,850	随契	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	6. 10. 25 7. 4. 14 小計	260,425 260,425 520,850	浄化槽の保守点検	随契1号 (少額) 焼津水産 焼津中央 藤枝特支
5	エレベーター保守点検業務	(株)日立ビルシステム	1,122,000	1,122,000	0	1,122,000	随契	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	6. 5. 30 6. 6. 28 6. 7. 31 6. 8. 30 6. 9. 30 6. 10. 31 6. 11. 29 6. 12. 25 7. 1. 31 7. 2. 28 7. 3. 31 7. 4. 23 小計	93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 93,500 1,122,000	エレベータ保守点検 定期点検、法定点検	随契2号 (不適)
6	GHPエアコン保守点検業務	東海ガス(株)	435,600	435,600	0	435,600	随契	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	7. 4. 14 小計	435,600 435,600	GHPエアコン保守点検	随契1号 (少額)
7	自家用電気工作物保安管理業務	中央電気保安管理技術者協会	145,200	145,200	0	145,200	随契	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	6. 6. 17 6. 7. 12 6. 9. 13 6. 11. 25 7. 1. 17 7. 3. 21 小計	22,990 22,990 30,250 22,990 22,990 22,990 145,200	自家用電気工作物保安管理	随契1号 (少額)
8	産業廃棄物(廃液)収集運搬業務	日本産業廃棄物処理(株)	11,000	11,000	0	11,000	随契	自 6. 8. 8 至 7. 3. 31	6. 11. 25 小計	11,000 11,000	産業廃棄物(廃液)収集運搬	随契1号 (少額)
9	産業廃棄物(廃液)処分業務	(株)大洋サービス	5,500	5,500	0	5,500	随契	自 6. 8. 8 至 7. 3. 31	6. 11. 25 小計	5,500 5,500	産業廃棄物(廃液)処分	随契1号 (少額)
10	産業廃棄物(廃棄薬品)収集運搬業務	日本産業廃棄物処理(株)	58,300	58,300	0	58,300	随契	自 6. 8. 8 至 7. 3. 31	6. 11. 28 小計	58,300 58,300	産業廃棄物(廃棄薬品)収集運搬	随契1号 (少額)
11	産業廃棄物(廃棄薬品)処分業務	三光(株)	25,586	25,586	0	25,586	随契	自 6. 8. 8 至 7. 3. 31	6. 11. 28 小計	25,586 25,586	産業廃棄物(廃棄薬品)処分	随契1号 (少額)
12	産業廃棄物(水銀使用製品)処分業務	(株)リフレックス	13,200	13,200	0	13,200	随契	自 6. 8. 8 至 7. 3. 31	6. 11. 28 小計	13,200 13,200	産業廃棄物(水銀使用製品)処分	随契1号 (少額)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
13	「行きたい学校づくり」意識変化に関する分析業務	学校法人新静岡学園 静岡産業大学	100,000	100,000	0	100,000	随契	自 6.11. 1 至 7. 3. 31	7. 4. 21	100,000	学習者の探求への取り組み意識変化に関する分析業務	随契1号(少額)
									小計	100,000		
14	「行きたい学校づくり」ブランディング業務	学校法人新静岡学園 静岡産業大学	320,000	320,000	0	320,000	随契	自 6.11. 1 至 7. 3. 31	7. 4. 21	320,000	本校の魅力を探り、今後の生徒募集につながるためのブランディング業務	随契1号(少額)
									小計	320,000		
15	「行きたい学校づくり」「焼津の魅力発信プロジェクト」業務	特定非営利活動法人 しずおか共育ネット	260,000	260,000	0	260,000	随契	自 6.10. 3 至 7. 3. 31	7. 4. 25	260,000	総合的な探究時間「焼津の魅力発信プロジェクト」業務	随契1号(少額)
									小計	260,000		
	事務関係計	15件								3,656,767		
	合計	15件								3,656,767		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	消防用設備等保守点検業務	消防設備保全㈱		7,590,000	678,647	8,268,647		自 6. 4. 1 至 7. 3. 31			消防用設備の維持点検	藤枝北
参考2	学校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		7,691,640	0	7,691,640		自元.10. 1 至 6. 9. 30			学校施設の機械警備	榛原
参考3	学校警備業務	セコム㈱		10,692,000	0	10,692,000		自 6.10. 1 至11. 9. 30			学校施設の機械警備	藤枝東
参考4	県立学校定期点検業務	青島彰一級建築士事務所		2,090,000	0	2,090,000		自 6.10. 1 至 7. 1. 31			建築基準法第12条に基づく定期点検	藤枝東
	計	4件										

□□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)
令和7年9月30日現在

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 可燃物収集運搬処分業務	㈱静岡環境保全センター	円 運搬料 1回当単価 2,750円 処分料 1kg当単価 14.63円	円 運搬料 1回当単価 1,980円 処分料 1kg当単価 14.63円	円 0	円 運搬料 1回当単価 1,980円 処分料 1kg当単価 14.63円	随契	自 7. 4. 4 至 8. 3. 31	7. 5. 20 7. 6. 17 7. 7. 16 7. 8. 19 7. 9. 17	円 37,580 47,114 43,661 47,372 25,563	可燃物収集運搬処分 紙屑、生ごみ、木屑 及び草・葉 (清流館高校) 毎週火曜日、金曜日 の93回/年 (藤枝特別支援学校) 毎週火曜日、金曜日 の93回/年	単価契約 随契1号 (少額) 藤枝特支
								小計		201,290		
2	産業廃棄物(廃プラスチック類)収集運搬処分業務	㈱アドバンス中部サービス	円 運搬料 1回当単価 3,520円 処分料 1kg当単価 132円	円 運搬料 1回当単価 3,520円 処分料 1kg当単価 132円	円 0	円 運搬料 1回当単価 3,520円 処分料 1kg当単価 132円	随契	自 7. 4. 10 至 8. 3. 31	7. 9. 17	15,400	産業廃棄物(廃プラスチック)収集運搬処分	単価契約 随契1号 (少額)
								小計		15,400		
3	産業廃棄物(混合)収集運搬処分業務	㈱アドバンス中部サービス	円 処分料 (運搬料込み) 8m ³ コンテナ 1回当単価 99,000円	円 処分料 (運搬料込み) 8m ³ コンテナ 1回当単価 99,000円	円 0	円 処分料 (運搬料込み) 8m ³ コンテナ 1回当単価 99,000円	随契	自 7. 4. 10 至 8. 3. 31	7. 8. 18	99,000	産業廃棄物(混合)収集運搬処分	単価契約 随契1号 (少額)
								小計		99,000		
4	浄化槽保守点検業務	ニッケン消毒㈱	709,500	662,200	△32,854	629,346	随契	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31			浄化槽の保守点検	随契1号 (少額) 焼津水産 焼津中央 藤枝特支
								小計		0		
5	エレベーター保守点検業務	㈱日立ビルシステム	1,122,000	1,122,000	0	1,122,000	随契	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	7. 5. 30 7. 6. 30 7. 7. 31 7. 8. 25 7. 9. 30	93,500 93,500 93,500 93,500	エレベーター保守点検 定期点検、法定点検	随契2号 (不適)
								小計		467,500		
6	GHPエアコン保守点検業務	東海ガス㈱	435,600	435,600	0	435,600	随契	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31			GHPエアコン保守点検	随契1号 (少額)
								小計		0		
7	家用電気工作物保安管理業務	中央電気保安管理技術者協会	145,200	145,200	0	145,200		自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	7. 5. 21 7. 7. 24 7. 9. 12	22,990 22,990 30,250	家用電気工作物保安管理	随契1号 (少額)
								小計		76,230		
8	産業廃棄物(廃液)収集運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	38,500	38,500	0	38,500	随契	自 7. 6. 27 至 8. 3. 31			産業廃棄物(廃液)収集運搬	随契1号 (少額)
								小計		0		
9	産業廃棄物(廃液)処分業務	日曹金属化学㈱	66,000	66,000	0	66,000	随契	自 7. 6. 27 至 8. 3. 31			産業廃棄物(廃液)処分	随契1号 (少額)
								小計		0		
	事務関係計	9件								859,420		
	合計	9件								859,420		

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘 要
				当初額	変 更 増減額	計						
参 考 1	消防用設備等保守点検業務	消防設備保全㈱		8,030,000	△ 6,730	8,023,270		自 7. 4. 1 至 8. 3. 31			消防用設備の維持点検	藤枝北
参 考 2	学校警備業務	セコム㈱		10,692,000	0	10,692,000		自 6.10. 1 至11. 9.30			学校施設の機械警備	藤枝東
参 考 3	プール浄化装置保守点検業務	大学産業㈱		297,000	0	297,000		自 7. 4. 4 至 7.12.19			プール循環浄化装置保守点検 年3回(始業前・中間・終了)	焼津中央
	計	3件										

□□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催通知による	高等学校教育の研究	4,000	6. 4. 30
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催通知による	生徒指導上諸問題の情報共有及び研究協議	2,000	6. 7. 19
3	全国福祉高等学校長会第28回総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会宮城大会参加費	全国福祉高等学校長会総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会実行委員会	開催通知による	福祉教育研究協議	16,000	6. 7. 26
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期 496名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,731,200	6. 7. 31
5	全国福祉高等学校長会年会費	全国福祉高等学校長会	会則による	福祉教育の充実と発展	10,000	6. 8. 2
6	全国普通科高等学校長会第74回総会・研究協議会大会参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知による	普通科高等学校教育研究協議	6,000	6. 9. 6
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期 486名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	24,057,000	6. 10. 31
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期 3名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる(遡及認定)	148,500	6. 11. 20
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期 1名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる(遡及認定)	49,500	6. 12. 11
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期 489名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,364,400	7. 1. 31
	計	10件			58,388,600	

□□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	医療的ケア教員講習会受講料	社会福祉法人聖隷福祉事業団	開催要項による	医療的ケア教授資格取得	14,080	7. 4. 10
2	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催通知による	高等学校教育の研究	4,000	7. 4. 30
3	全国福祉高等学校長会年会費	全国福祉高等学校長会	会則による	福祉教育の充実と発展	10,000	7. 4. 30
4	全国福祉高等学校長会第29回総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会愛媛大会参加費	全国福祉高等学校長会総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会実行委員会	開催通知による	福祉教育研究協議	16,000	7. 7. 10
5	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催通知による	生徒指導上諸問題の情報共有及び研究協議	2,000	7. 7. 23
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期 489名)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,523,300	7. 7. 31
7	全国普通科高等学校長会第75回総会・研究協議会大会参加費	全国普通科高等学校長会	開催通知による	普通科高等学校教育研究協議	6,000	7. 8. 15
8	全国英語教育研究大会参加費	全国絵英語教育研究大会実行委員会	開催通知による	英語教育研究協議	6,000	7. 9. 26
計		8件	/	/	14,581,380	/

余白

□□□□□□

建 築

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変 更 増減額	計
1	教育管理費	令和6年度 [第36-Z2405-01号] 清流館 高等学校プールろ過 設備更新工事	焼津市 上新田地内	円 18,777,000	円 18,700,000	円 1,881,000	20,581,000
		合 計	1 件	18,777,000	18,700,000	1,881,000	20,581,000

令和7年度 該当なし

工 事 調

(令和6年度)

契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完成 (予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
一般	(株)テクノスタナ ベ	着手 R6. 7. 9 完成 R7. 1. 17	円 20,581,000	プールろ過設備のろ過機・薬注装 置・ろ過ポンプ・ヘアキャッチャー の撤去更新 プールろ過システムの埋設配管及び一部 露出配管の撤去更新 動力設備のろ過機制御盤の撤去更新 受変電設備ブレーカーの撤去更新		本庁経理 設備課
			20,581,000			

□□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年3月31日 現 在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 1,736,056	/	千円 0	/	千円 50,405	/	千円 1,685,651	
土 地	m ² 39,954.80	1,314,113	m ²		m ²		m ² 39,954.80	1,314,113	
立木竹	本 115	1,803					本 115	1,803	
建 物	m ² 5,995.04 14,003.65	387,581				46,402	m ² 5,995.04 14,003.65	341,179	
工作物	個 61	32,559	個		個	4,003	個 61	28,556	
公有財産に 準ずるもの	/		/		/		/		
電 話 加入権	件 4						件 4		

令和6年度中増減なし

借地借家等調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	建 物	雑屋建	焼津市 上新田 292-1	重量 鉄骨造 平屋建	m ² 建43.20 延43.20	円 —	円 無償	H26.6.1 ～ 8.3.31	静岡県立清 流館高等学 校後援会長	シャワー室	
	小 計				m ² 建43.20 延43.20		円 0				
2	土 地	敷地	焼津市 上小杉字 荒蒔島 477-3		m ² 74.85	—	無償	5.4.1 ～ 10.3.31	焼津市長	河川占用 (体育館北) 水路グレー チング他	
3	土 地	敷地	焼津市 上新田字 東290-6		m ² 44.61	—	無償	4.4.1 ～ 9.3.31	焼津市長	河川占用 (グラウンド 南)橋梁階段	
4	土 地	敷地	焼津市 上新田字 東536-7		m ² 42.21	—	無償	4.4.1 ～ 9.3.31	焼津市長	河川占用 (正門西南) 橋梁	
5	土 地	敷地	焼津市 上小杉字 荒蒔島 477-3		m 2.6	—	無償	5.4.1 ～ 10.3.31	焼津市長	河川占用 (入浴実習 棟横)管路	
	小 計				m 164.27		円 0				
6	工作物	冷暖房 装置	焼津市 上新田 292-1		一式		円 474,084	3.7.1 ～ 16.6.30	三井住友ファイ ナンス&リース(株)	普通教室 空調	
7	工作物	冷暖房 装置	焼津市 上新田 292-1		一式		円 3,525,566	6.7.1 ～ 19.6.30	NTT・TCリース (株)静岡支店	特別教室 空調	
8	工作物	冷暖房 装置	焼津市 上新田 292-1		一式		— 無償	3.12.1 ～ 8.3.31	静岡県立清 流館高等学 校PTA会長	福祉講義室 空調	
	小 計				二式		円 3,999,650				
	合 計						円 3,999,650				

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可的目
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	支線 1条	円 1,500	円 1,500	自 4.4.1 至 9.3.31	NTT西日本(株)静岡支店長	支線設置
2	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	電柱 3本 支線 3条	1,500	9,000	自 4.4.1 至 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)静岡支社藤枝営業所長	電柱及び支線設置
3	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	0.05 m ²	—	免除	自 4.4.1 至 9.3.31	焼津市長	地域防災無線設置
	建物	事務所建	焼津市上新田292-1	RC3階建		0.07 m ²	—				
4	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	0.49 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	焼津市長	非常照明灯設置
5	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	0.68 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	大井川高校校歌碑設置
6	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	1.08 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	吉田高校校歌碑設置
7	建物	事務所建	焼津市上新田292-1	RC3階建		0.01 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	焼津市長	同報無線用個別受信機設置
8	建物	事務所建	焼津市上新田292-1	RC4階建		1.00 m ²	—	1,790	自 6.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校PTA会長	パン用自動販売機設置
9	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	2.25 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	焼津市長	耐震防火井戸設置
10	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	6.67 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	焼津市長	非常用給水タンク設置
11	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	14.95 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	焼津市長	防災倉庫設置
12	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	1.12 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	ソーラー時計設置
13	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	43.20 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	シャワー室設置
14	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	1.54 m ² 埋設 7m	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	テニスコート照明装置設置
15	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	3.64 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	目標碑設置
16	土地	学校敷地	焼津市上新田292-1	学校敷地	学校敷地	3.13 m ²	—	免除	自 7.4.1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等学校後援会長	記念碑設置

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は 面積	貸付料又は使用料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用許可を 受けた者の氏名	貸付・使用許可 的 目 的
				台帳	現況		単価	年額			
17	建物	事務所建	焼津市上 新田292-1	R C 2階建		m ² 591.30	—	免除	自 7.4. 1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等 学校後援会長	体育館多目的室 床貼り
18	土地	学校敷地	焼津市上 新田292-1	学校敷地	学校敷地	m ² 9.24	—	免除	自 7.4. 1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等 学校 P T A 会長	団体職員駐車場 及び執務場所
	建物	事務所建	焼津市上 新田292-1	R C 3階建		m ² 3.30	—				
19	建物	事務所建	焼津市上 新田292-1	R C 4階建		m ² 5.96	—	免除	自 7.4. 1 至 12.3.31	静岡県立清流館高等 学校 P T A 会長	空調機設置
20	土地	学校敷地	焼津市上 新田292-1	学校敷地	学校敷地	m ² 6.00	—	780,000	自 6.4. 1 至 9.3.31	ダイドードリンコ(株) 東海営業部	貸付 飲料用自動販売 機設置 4台
21	建物	事務所建	焼津市上 新田292-1	R C 4階建		m ² 0.84	—	1,500	自 7.4. 1 至 10.3.31	松本印刷(株)	デジタルサイン設置
合 計								793,790			

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 本体富士通 サーバー、タブレットPC他一式	毎日(年間200日程度) 福祉科の授業等に使用	令和4年3月	円 13,310,000
2	10-99	その他の教育用器具	その他の教育用器具 浴槽1、担架2、固定ストレッチャー2	年間10日程度 福祉科実習に使用(入浴実習)	平成26年3月	3,932,250
3	10-99	その他の教育用器具	その他の教育用器具 浴槽1及び入浴用車椅子椅子1	年間10日程度 福祉科実習に使用(入浴実習)	平成26年3月	2,040,150
4	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式 ネットワークサーバー等機器一式	毎日(年間250日程度) 校内LANに使用	平成13年3月	2,017,050
5	10-99	その他の教育用器具	その他の教育用器具 液晶プロジェクター外	年間40日程度 福祉科の授業に使用(介護実習用)	平成26年3月	1,419,180
6	10-99	その他の教育用器具	その他の教育用器具 液晶プロジェクター外	毎日(年間200日程度) 福祉科の授業に使用(講義用)	平成26年3月	1,419,180
7	02-02	放送装置	放送装置 1系統 20局	毎日(年間250日程度) 校内放送に使用	平成27年2月	1,047,600
8	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ GS-50	毎日(200日程度) 音楽の授業に使用	昭和59年3月	1,020,000
9	10-99	その他の教育用器具	その他の教育用器具 医学の基礎知識シリーズ 既刊 DVD30巻	年間30日程度 福祉科の授業に使用	平成26年3月	945,000
10	10-06	その他の家庭科用器具	体内脂肪計 身長計付 TBF-202	年間10日程度 福祉科実習に使用	平成9年2月	889,920
11	10-05	化学用器具	ドラフトチャンバー ヤガミ YD-IN-1500	年間22日程度 化学の授業に使用	昭和59年2月	795,000
12	10-12	室内競技用器具	トランポリン art.04100	年間200日程度 部活動に使用	平成16年10月	748,503
13	10-06	その他の家庭科用器具	人体模型ケース 2体用・W1200・飛散防止	年間10日程度 福祉科の授業に使用	平成8年3月	679,800
14	10-06	その他の家庭科用器具	人体模型ケース 2体用・W1200・飛散防止	年間10日程度 福祉科の授業に使用	平成8年3月	679,800
15	10-06	その他の家庭科用器具	人体解剖模型 女性・45分解	年間10日程度 福祉科の授業に使用	平成8年3月	655,080
16	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール 吉田体機工業 GL-100	毎日(年間250日程度) 体育の授業及び部活動に使用	平成7年8月	648,900
17	10-12	体操用器具	段違い平行棒用着地マット セノ 2×3×0.2m	年間200日程度 部活動に使用	平成14年2月	635,230
18	06-04	空調冷凍機器	製氷機 ホシザキIM-95WM	毎日(年間250日程度) 熱中症予防等に使用	平成26年3月	594,300
19	02-03	音響再生機器	スピーカー タンノイ カンタベリ	年間150日程度 音楽の授業及び部活動に使用	平成6年3月	587,100
20	02-03	音響再生機器	スピーカー タンノイ カンタベリ	年間150日程度 音楽の授業及び部活動に使用	平成6年3月	587,100

□□□□□

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	山梨 祥子		□□□	□年 □月	□□□
2	副校長	望月 和之		□□□	□年 □月	□□□
3	教頭	柿沼 いずみ		□□□	□年 □月	□□□
4	事務長	山下 清子	事務総括	□□□	□年 □月	□□□
5	教諭	荒浪 和彦	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
6	教諭	池谷 武馬	国語	□□□	□年 □月	□□□
7	教諭	大塚 幹也	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
8	教諭	大鐘 徳宏	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
9	教諭	岡本 昌欣	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
10	教諭	久米 加寿隆	理科	□□□	□年 □月	□□□
11	教諭	田中 由美	英語	□□□	□年 □月	□□□
12	教諭	藤田 和枝	国語	□□□	□年 □月	□□□
13	教諭	岡村 真琴	福祉	□□□	□年 □月	□□□
14	教諭	池谷 淑子	英語	□□□	□年 □月	□□□
15	教諭	川嶋 一枝	国語	□□□	□年 □月	□□□
16	教諭	池田 隆文	理科	□□□	□年 □月	□□□
17	教諭	関 章乃	国語	□□□	□年 □月	□□□
18	教諭	藤内 徹	数学	□□□	□年 □月	□□□
19	教諭	吉田 麻知代	音楽	□□□	□年 □月	□□□
20	教諭	石坂 健	理科	□□□	□年 □月	□□□
21	教諭	一木 太郎	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
22	教諭	平井 雅康	英語	□□□	□年 □月	□□□
23	教諭	齋藤 通也	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
24	教諭	隆 希美	家庭	□□□	□年 □月	□□□
25	教諭	北川 万理子	福祉	□□□	□年 □月	□□□
26	教諭	大橋 孝彦	保健体育	□□□	□年 □月	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
27	教諭	喜瀬 勇太	理科	□□□	□年 □月	□□□
28	教諭	生方 裕美	福祉	□□□	□年 □月	□□□
29	教諭	佐野 志乃布	英語	□□□	□年 □月	□□□
30	教諭	庄司 志帆	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
31	教諭	望月 駿一	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
32	教諭	小林 佑太郎	理科	□□□	□年 □月	□□□
33	教諭	山下 瑛理可	英語	□□□	□年 □月	□□□
34	教諭	成澤 一希	保健体育	□□□	□年 □月	□□□
35	教諭	寺田 美琴	福祉	□□□	□年 □月	□□□
36	教諭	田中 克幸	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
37	教諭	園田 聖	国語	□□□	□年 □月	□□□
38	教諭	臼井 涼太	数学	□□□	□年 □月	□□□
39	教諭	小泉 将志	数学	□□□	□年 □月	□□□
40	教諭	徳田 祐	数学	□□□	□年 □月	□□□
41	教諭	田中 瑛太郎	数学	□□□	□年 □月	□□□
42	教諭	井上 興	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
43	養護教諭	平井 優子		□□□	□年 □月	□□□
44	実習助手	川村 周平	理科	□□□	□年 □月	□□□
45	実習助手	石原 朱約	理科	□□□	□年 □月	□□□
46	主査	川口 明子	管財・会計	□□□	□年 □月	□□□
47	主任	内山 真登香	会計	□□□	□年 □月	□□□
48	主任	杉山 喬子	庶務・会計	□□□	□年 □月	□□□
49	主任	岡崎 茉莉枝		□□□	□年 □月	□□□
平均年数					□年 □月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(兼務)	中村 優	情報	□□□	□年 □月	□□□
2	教諭(任)	戸塚 章太郎	数学	□□□	□年 □月	□□□
3	教諭(臨)	市川 湧太	国語	□□□	□年 □月	□□□
4	臨時実習助手	広野 菜帆	福祉	□□□	□年 □月	□□□
5	会計年度任用職員 (非常勤講師)	小長谷百合子	地理歴史 ・公民	□□□	□年 □月	□□□
6	会計年度任用職員 (非常勤講師)	加藤 高志	数学	□□□	□年 □月	□□□
7	会計年度任用職員 (非常勤講師)	増田 誠	理科	□□□	□年 □月	□□□
8	会計年度任用職員 (非常勤講師)	大庭 誠司	理科	□□□	□年 □月	□□□
9	会計年度任用職員 (非常勤講師)	鈴木 雅明	理科	□□□	□年 □月	□□□
10	会計年度任用職員 (非常勤講師)	武藤 勇翔	理科	□□□	□年 □月	□□□
11	会計年度任用職員 (非常勤講師)	落合 江美	芸術(美術)	□□□	□年 □月	□□□
12	会計年度任用職員 (非常勤講師)	横山 佳通	芸術(書道)	□□□	□年 □月	□□□
13	会計年度任用職員 (非常勤講師)	森 雅人	福祉	□□□	□年 □月	□□□
14	会計年度任用職員 (非常勤講師)	大石 和子	福祉	□□□	□年 □月	□□□
15	会計年度任用職員 (非常勤講師)	小出 美由季	福祉	□□□	□年 □月	□□□
16	会計年度任用職員 (非常勤講師)	杉本 美子	福祉	□□□	□年 □月	□□□
17	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	高瀬 賢二	用務	□□□	□年 □月	□□□
18	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	松永 芳裕	用務	□□□	□年 □月	□□□
19	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	木野 哲宏	用務	□□□	□年 □月	□□□
20	学校医	櫻井 敦	内科	□□□	□年 □月	□□□
21	学校医	中川 泰典	眼科	□□□	□年 □月	□□□
22	学校医	森田 祥	耳鼻科	□□□	□年 □月	□□□
23	学校歯科医	秋庭 健志	歯科	□□□	□年 □月	□□□
24	学校薬剤師	服部 悦治	薬剤師	□□□	□年 □月	□□□

□□□□□□

職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	18	
40歳以上50歳未満	8	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	6	
61歳以上	6	再任用職員4人
計	49	平均年齢45.2歳

□□□□□□□□

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 51人 職員数 51人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。 また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	12人 (12)
D 2		要経過観察	8人 (8)
D 3		医 療 不 要	27人 (27)
区 分 者 計			47人 (47)
未 区 分 者 数			2人
合 計			49人 (49)

(1) 管理区分A～C 2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人